

<年2回決算型・為替ヘッジあり>

第14期末（2026年6月22日）	
基準価額	9,745円
純資産総額	438百万円
騰落率	10.8%
分配金	0円

<年2回決算型・為替ヘッジなし>

第14期末（2026年6月22日）	
基準価額	11,306円
純資産総額	720百万円
騰落率	15.4%
分配金	1,300円

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

ニッセイ／シュロダー・ グローバルC B ファンド

(年2回決算型・為替ヘッジあり)

(年2回決算型・為替ヘッジなし)

【愛称】 攻防兼備

追加型投信／内外／その他資産（転換社債）

運用報告書（全体版）

作成対象期間：2025年12月23日～2026年6月22日

第14期（決算日 2026年6月22日）

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ／シュロダー・グローバルC B ファンド（年2回決算型・為替ヘッジあり）／（年2回決算型・為替ヘッジなし）」は、このたび第14期の決算を行いました。

各ファンドは、「シュロダー・グローバルC B ファンド（少人数私募）為替ヘッジあり／為替ヘッジなし」への投資を通じて、日本を含む世界のC B（転換社債）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

運用経過

2025年12月23日～2026年6月22日

基準価額等の推移



第14期首	8,797円	既払分配金	0円
第14期末	9,745円	騰落率(分配金再投資ベース)	10.8%

（注1）税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

（注2）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注3）当ファンドはコンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・2026年1月中旬から2月にかけて、米国のインフレ指標の一部に落ち着きが見られ、金融緩和期待が一時的に高まったことなどにより、保有するＣＢ（転換社債）銘柄の価格が上昇したこと
- ・4月から5月にかけては、好調な企業業績に加え、中東情勢の緊張緩和期待も支援材料となり、株式市場が堅調に推移し保有するＣＢ銘柄の価格が上昇したこと

<下落要因>

- ・3月中旬から下旬にかけて、中東情勢の悪化やエネルギー価格の急騰を受けてインフレ再加速やスタグフレーション（不景気と物価上昇の同時進行）への懸念が高まり、株式市場が一時的に調整し、保有するＣＢ銘柄の価格が下落したこと

1 万口当たりの費用明細

項目	第14期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	52円	0.557%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は9,261円です。
(投信会社)	(15)	(0.159)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(36)	(0.384)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(1)	(0.014)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	1	0.005	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(監査費用)	(1)	(0.005)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
合計	52	0.562	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

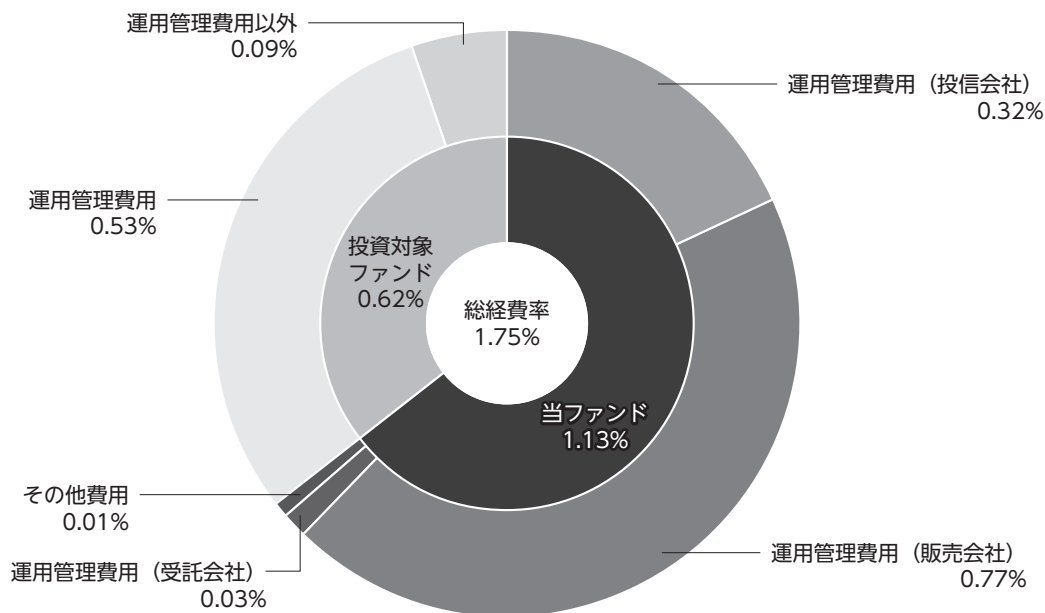
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては、投資信託証券の概要に表示しています。

（参考情報）

■総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.75%**です。



総経費率（①+②+③）	1.75%
①当ファンドの費用の比率	1.13%
②投資対象ファンドの運用管理費用の比率	0.53%
③投資対象ファンドの運用管理費用以外の比率	0.09%

（注1）①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は、年率換算した値です。

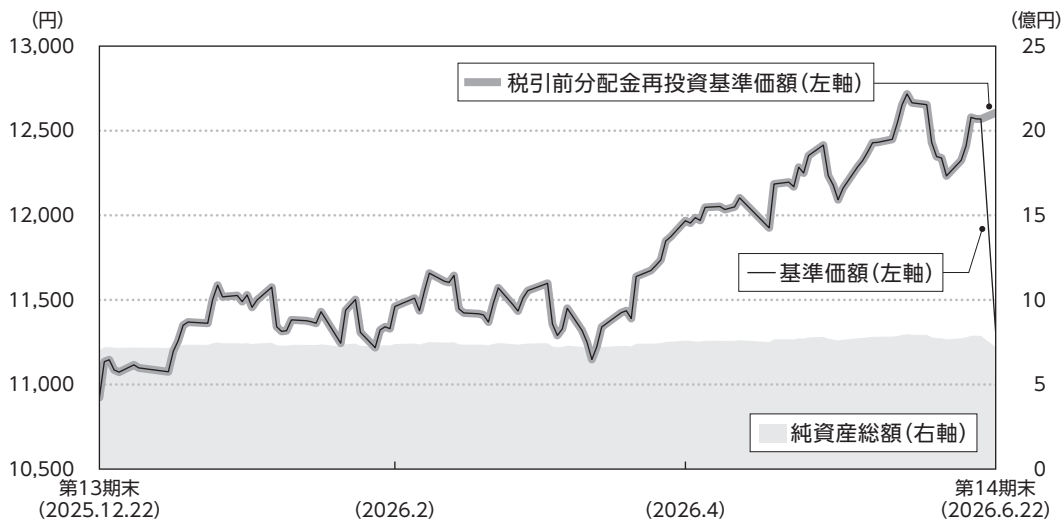
（注4）投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

（注5）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資対象ファンドが支払った費用を含みません。

（注6）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

（注7）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

基準価額等の推移



第14期首	10,923円	既払分配金	1,300円
第14期末	11,306円	騰落率（分配金再投資ベース）	15.4%

（注１）税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注３）当ファンドはコンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・2026年４月から５月にかけて、好調な企業業績や中東情勢の緊張緩和期待などから株式市場が堅調に推移し保有するＣＢ（転換社債）銘柄の価格が上昇したことに加え、日米欧の金利差や円安基調の継続を背景に米ドル高円安、ユーロ高円安が進展し、為替差益を得られたこと

<下落要因>

- ・１月中旬から下旬にかけて、米国のインフレ指標の一部に落ち着きが見られたことで金融緩和期待が一時的に高まり、為替市場において米ドル安円高が進行したこと
- ・３月中旬から下旬にかけて、中東情勢の悪化やエネルギー価格の急騰を受けてインフレ再加速やスタグレーションへの懸念が高まり、株式市場が一時的に調整し、保有するＣＢ銘柄の価格も下落したこと

1 万口当たりの費用明細

項目	第14期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	65円	0.557%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は11,716円です。
(投信会社)	(19)	(0.159)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(45)	(0.384)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(2)	(0.014)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	1	0.005	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(監査費用)	(1)	(0.005)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
合計	66	0.562	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

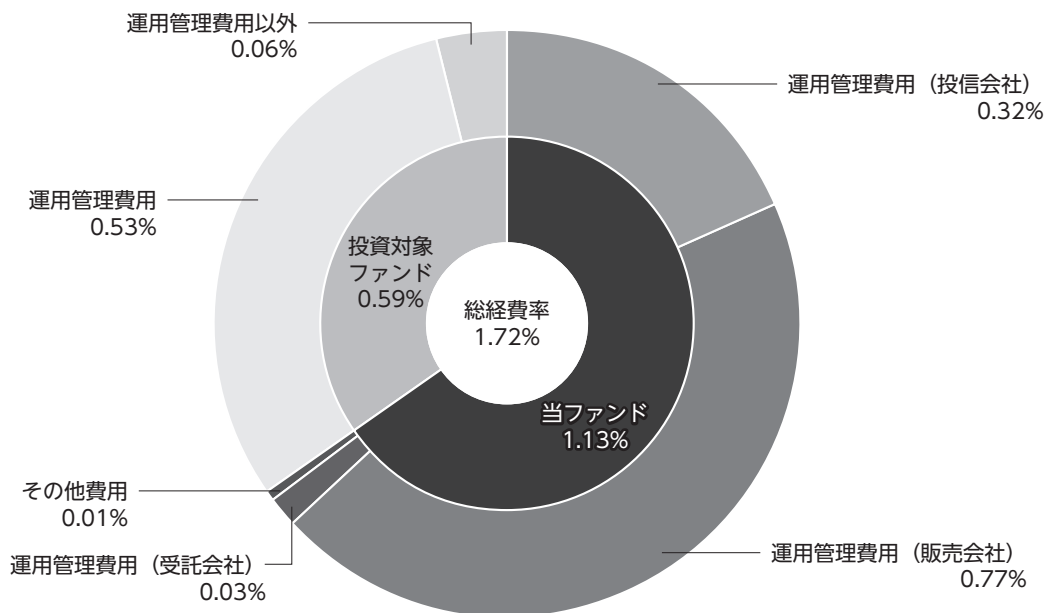
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては、投資信託証券の概要に表示しています。

（参考情報）

■総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.72%**です。



総経費率（①+②+③）	1.72%
①当ファンドの費用の比率	1.13%
②投資対象ファンドの運用管理費用の比率	0.53%
③投資対象ファンドの運用管理費用以外の比率	0.06%

（注1）①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は、年率換算した値です。

（注4）投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

（注5）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資対象ファンドが支払った費用を含みません。

（注6）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

（注7）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■グローバルC B市況

グローバルC B市場は期を通じて見ると上昇しました。

期初から2026年初にかけては、生成人工知能（A I）関連銘柄を中心に高いバリュエーション（企業の利益・資産など、本来の企業価値と比較して、相対的な株価の割高・割安を判断する指標）や設備投資負担の増大が懸念され、米国株式やグロース株の一角では上値の重い展開となりました。2月にはA I関連銘柄やソフトウェア関連銘柄に対する警戒感が重荷となる一方、米国以外の地域やバリュー株は相対的に堅調に推移しました。3月には中東情勢の悪化やエネルギー価格の急騰を受け、インフレ再加速やスタグフレーションへの懸念が高まり、株式市場は一時的に調整しました。その後は、景気後退リスクが限定的との見方や、企業業績の底堅さ、A I関連テクノロジーセクターの堅調さが下支えとなり、市場は落ち着きを取り戻しました。5月にかけては、好調な企業業績に加え、中東情勢の緊張緩和期待も支援材料となり、株式市場は堅調に推移しました。6月にかけても、中東情勢やエネルギー価格、金利動向を巡る不透明感から一進一退の動きとなりましたが、景気および企業業績の底堅さを背景に、前期末対比で上昇しました。C B市場も株式市場の上昇に追随し、情報技術および資本財・サービスセクターが堅調に推移したことから上昇しました。

■為替市況

米ドル／円相場は期を通じて見ると米ドル高円安となりました。

期初から2026年初にかけて、米国において政策金利の高止まり観測が意識される中、日米金利差の拡大を背景に、米ドル買い円売りが進行しました。1月から2月にかけては、インフレ指標の一部に落ち着きが見られたことから金融緩和期待が一時的に高まり、米ドル安円高となる局面も見られましたが、米国経済の底堅さや相対的に高い金利水準を背景に、その後は再び米ドル高円安基調となりました。3月から5月にかけては、中東情勢の悪化やエネルギー価格の上昇を背景にインフレや金利見通しを巡る思惑が交錯し、米金利が上下する中で為替市場も振れの大きい不安定な動きとなりましたが、日米金利差を背景とした米ドル高円安水準が維持されました。その後も同様の構図が継続し、前期末対比では米ドル高円安となりました。

ユーロ／円相場は期を通じて見るとユーロ高円安となりました。

期初から2026年2月にかけて、日本の低金利環境の継続や円安基調を背景に、ユーロは対円で底堅く推移しました。3月から4月にかけては、中東情勢やエネルギー価格上昇を背景とした景気懸念や欧州中央銀行（ECB）の金融政策見通しを巡る思惑を受けて一時的に調整しましたが、その後は域内インフレの粘着性や相対的に高い金利水準が意識され、持ち直しました。5月以降は、欧州と日本の金利差が引き続き意識されたことや、円安基調の継続を背景にユーロは対円で底堅く推移したことから、前期末対比ではユーロ高円安となりました。

ポートフォリオ

■年2回決算型・為替ヘッジあり

「シュローダー・グローバルＣＢファンド（少人数私募）為替ヘッジあり」への投資を通じて、日本を含む世界のＣＢを実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

■年2回決算型・為替ヘッジなし

「シュローダー・グローバルＣＢファンド（少人数私募）為替ヘッジなし」への投資を通じて、日本を含む世界のＣＢを実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

■シュローダー・グローバルＣＢファンド（少人数私募）為替ヘッジあり／為替ヘッジなし

*主な投資対象となる「シュローダー・グローバルＣＢファンド（少人数私募）為替ヘッジあり／為替ヘッジなし」のマザーファンドについての説明であり、シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社の資料（現地における当期末基準）に基づき、ニッセイアセットマネジメントが作成しています。

主に日本を含む世界のＣＢに投資を行いました。なお、《為替ヘッジあり》については、組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りました。

<業種配分>

当期末時点では、組入比率の高い順に情報技術（32.2%）、資本財・サービス（20.2%）、一般消費財・サービス（13.6%）としています。

<国・地域別配分>

当期末時点では、組入比率の高い順にアメリカ（47.7%）、ケイマン諸島（9.0%）、日本（7.4%）としています。

<通貨別配分>

当期末時点では、組入比率の高い順に米ドル（71.2%）、ユーロ（17.3%）、円（7.2%）としています。

（注1）業種配分、通貨別配分の比率は対組入債券評価額比、国・地域別配分の比率は対純資産総額比です。

（注2）業種はGICS（世界産業分類基準）による分類ですが、GICS分類が不明な場合はブルームバーグ業種分類（BICSレベル1）を基に分類しています。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

（注3）国・地域はシュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社の分類（設立地・登記国基準）によるものです。

■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

ベンチマークとの差異

■年2回決算型・為替ヘッジあり

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界のCBを実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことからベンチマークなどを設けていません。

■年2回決算型・為替ヘッジなし

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界のCBを実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことからベンチマークなどを設けていません。

分配金

■年2回決算型・為替ヘッジあり

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。
なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期	
	2025年12月23日～2026年6月22日	
当期分配金（税引前）	－	
対基準価額比率	－	
当期の収益	－	
当期の収益以外	－	
翌期繰越分配対象額	280円	

■年2回決算型・為替ヘッジなし

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を考慮の上、下表の通りとさせていただきます。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期	
	2025年12月23日～2026年6月22日	
当期分配金（税引前）	1,300円	
対基準価額比率	10.31%	
当期の収益	1,300円	
当期の収益以外	－	
翌期繰越分配対象額	1,306円	

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■年2回決算型・為替ヘッジあり

「シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジあり」への投資を通じて、日本を含む世界のCBを実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

■年2回決算型・為替ヘッジなし

「シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジなし」への投資を通じて、日本を含む世界のCBを実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

■シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジあり／為替ヘッジなし

グローバルCB市場における投資機会は拡大基調で推移することが見込まれます。AI関連を中心とした設備投資が拡大する中で、CBは企業の柔軟な資金調達手段として活用されることが予想されます。また、株式市場のボラティリティ（価格変動性）が高止まりする局面においては、リスク管理を重視した投資家の選好がCB市場の支えとなっています。

発行動向についても、グローバルで活発な発行が続くと考えます。2026年5月の年初来グローバルCB発行額は923億米ドルに達し、前年5月末時点の年初来発行額の約2倍となりました。各国で金利上昇が見られる中、資金調達手段としてCB需要が高まる見通しです。こうした発行環境や、資金需要の定着を背景に、AIインフラやデータセンター、素材・鉱業など、資本集約的な領域での投資テーマが今後もCB発行の支えとなると考えます。米国が引き続き発行の中心となる一方、アジア（日本含む）も成長投資や企業改革を背景に一定の存在感を維持する見通しです。

金融政策や財政状況の地域差が広がる中、金融市場では個別企業の事業基盤や財務状況に基づく選別が重視されており、CB投資においてもクレジット分析の重要性が高まっています。株式の上昇局面を捉えることが可能である一方、景気後退局面においてはクーポン収入や債券的性質が強まることで下値抵抗力を発揮することが期待できるCBは、このようなボラティリティが高まる環境下において魅力的な投資対象と考えます。今後も各国の経済状況や金融政策、セクター別の展開を踏まえたポートフォリオの構築を行っていく方針です。

「シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジあり／為替ヘッジなし」では、主に日本を含む世界のCBに投資を行います。なお《為替ヘッジあり》については、組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。

■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

ファンドデータ

ニッセイ／シュローダー・グローバルC Bファンド（年2回決算型・為替ヘッジあり）の組入資産の内容

■組入ファンド

	第14期末 2026年6月22日
シュローダー・グローバルC Bファンド （少数私募） 為替ヘッジあり	99.5%
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	0.0

（注1）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

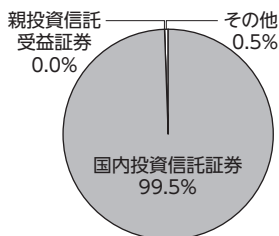
（注2）組入全ファンドを記載しています。

■純資産等

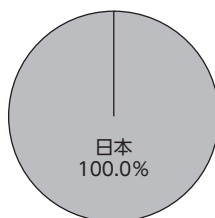
項目	第14期末 2026年6月22日
純資産総額	438,836,983円
受益権総口数	450,337,301口
1万口当たり基準価額	9,745円

（注）当期間中における追加設定元本額は35,253円、同解約元本額は46,970,229円です。

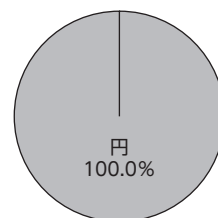
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



（注）資産別・国別・通貨別配分は、2026年6月22日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイ／シュローダー・グローバルCBファンド（年2回決算型・為替ヘッジなし）の組入資産の内容

■組入ファンド

	第14期末 2026年6月22日
シュローダー・グローバルCBファンド (少人数私募) 為替ヘッジなし	97.9%
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	0.0

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

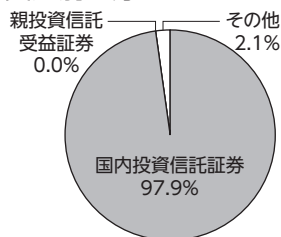
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

■純資産等

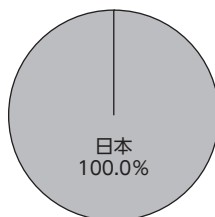
項目	第14期末 2026年6月22日
純資産総額	720,608,167円
受益権総口数	637,345,130口
1万口当たり基準価額	11,306円

(注) 当期間中における追加設定元本額は15,082,976円、同解約元本額は22,047,107円です。

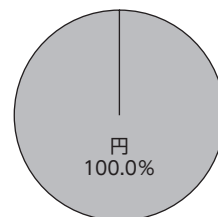
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分

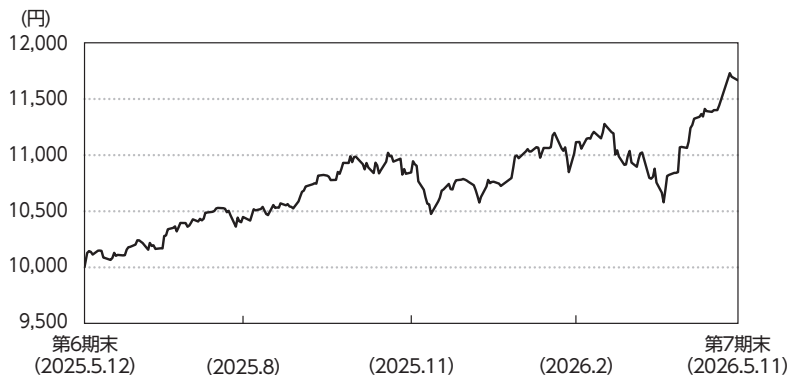


(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2026年6月22日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

シュローダー・グローバルC Bファンド（少人数私募）為替ヘッジあり／為替ヘッジなしの概要

<シュローダー・グローバルC Bファンド（少人数私募）為替ヘッジあり>

■ 税引前分配金再投資基準価額の推移



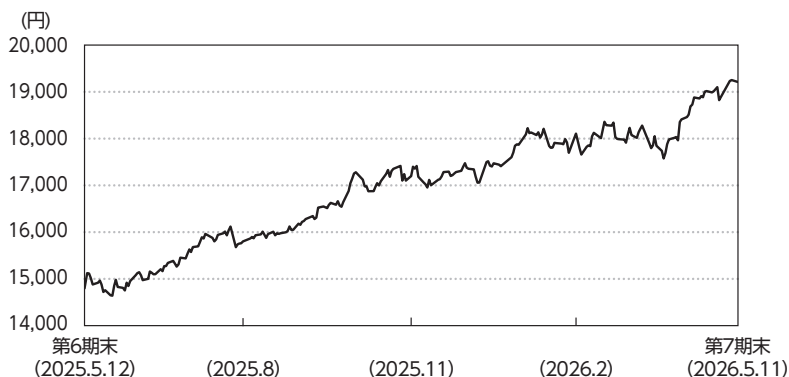
■ 1万口当たりの費用明細

2025.5.13～2026.5.11

項目	金額
信託報酬	57円
（投信会社）	(54)
（販売会社）	(0)
（受託会社）	(3)
売買委託手数料	0
（新株予約権証券）	(0)
その他費用	10
（保管費用）	(4)
（監査費用）	(1)
（印刷費用）	(2)
（その他）	(3)
合計	67

<シュローダー・グローバルC Bファンド（少人数私募）為替ヘッジなし>

■ 税引前分配金再投資基準価額の推移



■ 1万口当たりの費用明細

2025.5.13～2026.5.11

項目	金額
信託報酬	90円
（投信会社）	(86)
（販売会社）	(0)
（受託会社）	(4)
売買委託手数料	0
（新株予約権証券）	(0)
その他費用	11
（保管費用）	(6)
（監査費用）	(2)
（印刷費用）	(2)
（その他）	(1)
合計	101

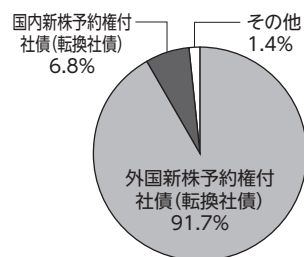
（注1） 税引前分配金再投資基準価額の推移は、投資信託証券の直近の決算期のものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化していません。

（注2） 1万口当たりの費用明細は、投資信託証券の直近の決算期のものであります。費用項目の概要については運用報告書（全体版）の1万口当たりの費用明細をご参照ください。

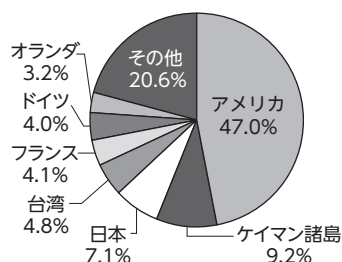
■上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
GOLDMAN SACHS 0% CB	ユーロ	2.8%
ALIBABA GROUP HLD 0% CB	米ドル	2.4
SOUTHERN CO 4.5% CB	米ドル	2.3
BLOOM ENERGY 0% CB	米ドル	2.1
CLOUDFLARE INC 0% CB	米ドル	2.0
JINKAI INVESTMENT 0% CB	米ドル	2.0
NEBIUS GROUP 2.75% CB	米ドル	2.0
SCHNEIDER ELEC 1.97% CB	ユーロ	1.7
PING AN INSURANCE 0% CB	香港ドル	1.7
RIVIAN AUTO 3.625% CB	米ドル	1.5
組入銘柄数	127	

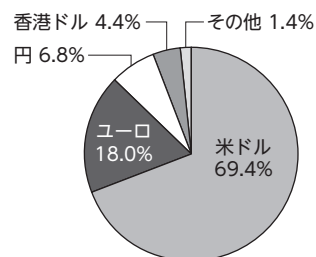
■資産別配分



■国別配分



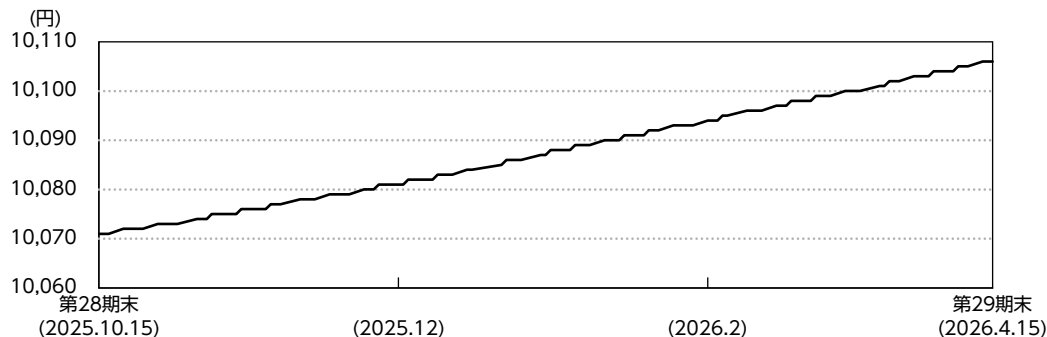
■通貨別配分



- (注1) 組み入れているのは「シュローダー・グローバルC Bファンド(少人数私募) 為替ヘッジあり/為替ヘッジなし」ですが、上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は投資信託証券が投資しているマザーファンドの投資資産を表示しています。
- (注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2026年5月11日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分については発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しています。
- (注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入資産の明細をご参照ください。

ニッセイマネーマーケットマザーファンドの概要

■基準価額の推移



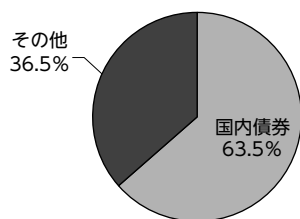
■上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
第1回 東京都公募公債 (東京ソーシャルボンド (5年))	円	10.4%
令和3年度第6回 埼玉県公募公債 (5年)	円	10.4
平成28年度第4回 京都市公募公債	円	6.2
第760回 東京都公募公債	円	6.0
平成28年度第1回 静岡市公募公債	円	6.0
第160回 共同発行市場公募地方債	円	5.7
第291回 政保日本高速道路保有・債務返済機構債券	円	3.8
第158回 共同発行市場公募地方債	円	3.8
第756回 東京都公募公債	円	3.8
平成28年度第5回 愛知県公募公債	円	3.8
組入銘柄数	11	

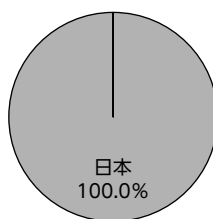
■1万口当たりの費用明細

当期 (2025年10月16日～2026年4月15日) における費用はありません。

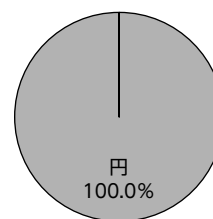
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日 (2026年4月15日現在) のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書 (全体版) の組入有価証券明細表をご参照ください。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額＋ 累計分配金	シュローダー・ グローバル CBファンド (少人数私募) 為替ヘッジあり	債券 組入比率	純資産 総額
	円	円	%	円	%	%	百万円
10期(2024年6月20日)	8,020	0	△ 1.9	9,220	99.5	0.0	509
11期(2024年12月20日)	8,252	0	2.9	9,452	99.6	0.0	495
12期(2025年6月20日)	8,491	0	2.9	9,691	99.5	0.0	467
13期(2025年12月22日)	8,797	0	3.6	9,997	99.7	0.0	437
14期(2026年6月22日)	9,745	0	10.8	10,945	99.5	0.0	438

(注1) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注2) 「基準価額＋累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注4) 当ファンドはコンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	シュローダー・ グローバルCBファンド (少人数私募)為替ヘッジあり	債券 組入比率
	円	%	%	%
(期首)2025年12月22日	8,797	—	99.7	0.0
12月末	8,894	1.1	99.7	0.0
2026年1月末	9,257	5.2	99.5	0.0
2月末	9,315	5.9	99.7	0.0
3月末	8,802	0.1	99.8	0.0
4月末	9,398	6.8	99.9	0.0
5月末	9,680	10.0	100.0	0.0
(期末)2026年6月22日	9,745	10.8	99.5	0.0

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

売買および取引の状況

2025年12月23日～2026年6月22日

(1) 投資信託証券

	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
シュロダー・グローバルＣＢファンド (少人数私募) 為替ヘッジあり	－	－	41,550	46,520

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 口数および金額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	－	－	－	－

(注) 当期における親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等

2025年12月23日～2026年6月22日

当期における利害関係人との取引はありません。

組入有価証券明細表

2026年6月22日現在

(1) 投資信託証券

ファンド名	期首(前期末)	当期末		
	口数	口数	評価額	比率
	千口	千口	千円	%
シュロダー・グローバルＣＢファンド (少人数私募) 為替ヘッジあり	410,342	368,792	436,686	99.5
合計	410,342	368,792	436,686	99.5

(注1) 比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数および評価額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託残高

種類	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	9	9	10

(注) 当期末におけるニッセイマネーマーケットマザーファンド全体の口数は4,954,280千口です。

投資信託財産の構成

2026年6月22日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
シュロダー・グローバルC Bファンド （少人数私募）為替ヘッジあり	千円 436,686	% 99.0
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	10	0.0
コール・ローン等、その他	4,576	1.0
投資信託財産総額	441,272	100.0

（注）評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

（2026年6月22日現在）

項目	当期末
(A) 資産	441,272,954円
コール・ローン等	4,576,044
シュロダー・グローバルC Bファンド(少人数私募) 為替ヘッジあり(評価額)	436,686,820
ニッセイマネーマーケットマザーファンド(評価額)	10,090
(B) 負債	2,435,971
未払信託報酬	2,412,305
その他未払費用	23,666
(C) 純資産総額(A－B)	438,836,983
元本	450,337,301
次期繰越損益金	△ 11,500,318
(D) 受益権総口数	450,337,301口
1万口当たり基準価額(C／D)	9,745円

- （注1）期首元本額 497,272,277円
 期中追加設定元本額 35,253円
 期中一部解約元本額 46,970,229円
- （注2）元本の欠損
 純資産総額は元本額を下回っており、その差額は11,500,318円です。

損益の状況

当期（2025年12月23日～2026年6月22日）

項目	当期
(A) 配当等収益	8,395円
受取利息	8,395
(B) 有価証券売買損益	45,116,786
売買益	47,174,782
売買損	△ 2,057,996
(C) 信託報酬等	△ 2,435,971
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	42,689,210
(E) 前期繰越損益金	△ 85,948,622
(分配準備積立金)	(9,816)
(繰越欠損金)	(△ 85,958,438)
(F) 追加信託差損益金*	31,759,094
(配当等相当額)	(12,611,319)
(売買損益相当額)	(19,147,775)
(G) 合計(D＋E＋F)	△ 11,500,318
次期繰越損益金(G)	△ 11,500,318
追加信託差損益金	31,759,094
(配当等相当額)	(12,611,319)
(売買損益相当額)	(19,147,775)
分配準備積立金	17,724
繰越欠損金	△ 43,277,136

- （注1）(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。
- （注2）(C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。
- （注3）(E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。
- （注4）(F)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	7,908円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	12,611,319円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	9,816円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	12,629,043円
(f) 分配対象額 (1 万口当たり)	280.44円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金 (1 万口当たり)	0円

最近５期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額＋ 累計分配金	シュローダー・ グローバル ＣＢファンド (少人数私募) 為替ヘッジなし	債券 組入比率	純資産 総額
	円	円	%	円	%	%	百万円
10期(2024年 6 月20日)	10,657	600	8.9	13,357	99.5	0.0	879
11期(2024年12月20日)	10,547	400	2.7	13,647	99.4	0.0	797
12期(2025年 6 月20日)	10,380	200	0.3	13,680	99.2	0.0	767
13期(2025年12月22日)	10,923	800	12.9	15,023	99.3	0.0	703
14期(2026年 6 月22日)	11,306	1,300	15.4	16,706	97.9	0.0	720

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注 2) 「基準価額＋累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注 3) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注 4) 当ファンドはコンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	シュローダー・ グローバルＣＢファンド (少人数私募)為替ヘッジなし	債券 組入比率
	円	%	%	%
(期首)2025年12月22日	10,923	－	99.3	0.0
12月末	11,098	1.6	99.6	0.0
2026年 1 月末	11,382	4.2	99.9	0.0
2 月末	11,658	6.7	99.8	0.0
3 月末	11,251	3.0	99.8	0.0
4 月末	12,050	10.3	99.9	0.0
5 月末	12,431	13.8	100.0	0.0
(期末)2026年 6 月22日	12,606	15.4	97.9	0.0

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

売買および取引の状況

2025年12月23日～2026年6月22日

(1) 投資信託証券

	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
シュロダー・グローバルＣＢファンド (少人数私募) 為替ヘッジなし	千口 2,445	千円 4,260	千口 55,775	千円 109,080

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 口数および金額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 －	千円 －	千口 －	千円 －

(注) 当期における親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等

2025年12月23日～2026年6月22日

当期における利害関係人との取引はありません。

組入有価証券明細表

2026年6月22日現在

(1) 投資信託証券

ファンド名	期首(前期末)	当期末		
	口数	口数	評価額	比率
シュロダー・グローバルＣＢファンド (少人数私募) 為替ヘッジなし	千口 407,192	千口 353,862	千円 705,389	% 97.9
合計	407,192	353,862	705,389	97.9

(注1) 比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数および評価額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託残高

種類	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 9	千口 9	千円 10

(注) 当期末におけるニッセイマネーマーケットマザーファンド全体の口数は4,954,280千口です。

投資信託財産の構成

2026年6月22日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
シュロダー・グローバルC Bファンド （少人数私募）為替ヘッジなし	千円 705,389	% 87.3
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	10	0.0
コール・ローン等、その他	102,263	12.7
投資信託財産総額	807,663	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2026年6月22日現在)

項目	当期末
(A) 資産	807,663,148円
コール・ローン等	102,263,356
シュロダー・グローバル C Bファンド(少人数私募) 為替ヘッジなし(評価額)	705,389,702
ニッセイマネーマーケット マザーファンド(評価額)	10,090
(B) 負債	87,054,981
未払収益分配金	82,854,866
未払信託報酬	4,159,222
その他未払費用	40,893
(C) 純資産総額(A－B)	720,608,167
元本	637,345,130
次期繰越損益金	83,263,037
(D) 受益権総口数	637,345,130口
1万口当たり基準価額(C／D)	11,306円

(注) 期首元本額 644,309,261円
 期中追加設定元本額 15,082,976円
 期中一部解約元本額 22,047,107円

損益の状況

当期（2025年12月23日～2026年6月22日）

項目	当期
(A) 配当等収益	13,483円
受取利息	13,483
(B) 有価証券売買損益	109,679,146
売買益	111,385,487
売買損	△ 1,706,341
(C) 信託報酬等	△ 4,200,115
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	105,492,514
(E) 前期繰越損益金 (分配準備積立金)	33,709,854 (33,709,854)
(F) 追加信託差損益金* (配当等相当額) (売買損益相当額)	26,915,535 (21,796,659) (5,118,876)
(G) 合計(D＋E＋F)	166,117,903
(H) 収益分配金	△ 82,854,866
次期繰越損益金(G＋H)	83,263,037
追加信託差損益金 (配当等相当額) (売買損益相当額)	26,915,535 (21,796,659) (5,118,876)
分配準備積立金	56,347,502

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。
 (注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。
 (注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。
 (注4) (F)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	13,063円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	105,479,451円
(c) 信託約款に定める収益調整金	26,915,535円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	33,709,854円
(e) 分配対象額（a + b + c + d）	166,117,903円
(f) 分配対象額（1万口当たり）	2,606.40円
(g) 分配金	82,854,866円
(h) 分配金（1万口当たり）	1,300円

<課税上の取り扱いについて>

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・受益者は普通分配金に対し課税されます。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

お知らせ

■各ファンドの約款変更

「一般社団法人投資信託協会」と「一般社団法人日本投資顧問業協会」の合併に伴い関連条項に所要の変更を行いました。

(2026年4月1日)

運用者情報

■当社運用担当者情報について

・当社の運用担当者情報はHP上よりご確認ください。

■ニッセイ／シュローダー・グローバルC B ファンド（年2回決算型・為替ヘッジあり）



https://www.nam.co.jp/fundinfo/nsgcbf2_a/main.html

■ニッセイ／シュローダー・グローバルC B ファンド（年2回決算型・為替ヘッジなし）



https://www.nam.co.jp/fundinfo/nsgcbf2_b/main.html

各ファンドの概要

				年2回決算型・為替ヘッジあり	年2回決算型・為替ヘッジなし
商	品	分	類	追加型投信／内外／その他資産（転換社債）	
信	託	期	間	2019年6月28日～2029年5月10日	
運				投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界のC B（転換社債）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。	
				実質的な組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。	
用				実質的な組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ニッセイ／シュローダー・グローバルC Bファンド		「シュローダー・グローバルC Bファンド（少人数私募）為替ヘッジあり」および「ニッセイマネーマーケットマザーファンド」		「シュローダー・グローバルC Bファンド（少人数私募）為替ヘッジなし」および「ニッセイマネーマーケットマザーファンド」
	シュローダー・グローバルC Bファンド（少人数私募）為替ヘッジあり／為替ヘッジなし		シュローダー・グローバルC Bマザーファンド		
	シュローダー・グローバルC Bマザーファンド		日本を含む世界のC B（転換社債）		
	ニッセイマネーマーケットマザーファンド		円建ての短期公社債および短期金融商品		
運				用	
方				法	
				以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への直接投資は行いません。 ・株式への直接投資は行いません。	
分				配	
方				針	
				毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により、分配を行わないこともあります。	

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（転換社債）	
信託期間	2019年7月1日から2029年5月10日まで	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	シュローダー・グローバルCBマザーファンドの受益証券を主な投資対象とします。
	シュローダー・グローバルCBマザーファンド	世界（日本を含む）の転換社債を主な投資対象とします。
運用方法および組入制限	当ファンド	・マザーファンド受益証券への投資を通じて運用を行います。 ・マザーファンド組入比率には制限を設けません。 ・実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。また通貨によっては、主として米ドルを用いた代替ヘッジを行うことがあります。
	シュローダー・グローバルCBマザーファンド	・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・運用にあたってはシュローダー・インベストメント・マネージメント・リミテッドに外貨建資産等の運用の指図に関する権限を委託します。
分配方針	年1回の毎決算時（毎年5月10日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日。）に原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。 なお、収益分配を行わない場合があります。	

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町二丁目6番4号

<http://www.schroders.co.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

・投資信託営業部 電話番号 03-5293-1323
・受付時間 9:00～17:00（土・日・祝日は除く）

シュローダー・グローバル CBファンド（少人数私募） 為替ヘッジあり

第7期 運用報告書（全体版）

（決算日 2026年5月11日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、「シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募） 為替ヘッジあり」は、2026年5月11日に第7期の決算を行いました。

ここに、謹んで期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

Schroders

シュローダー・インベストメント・マネジメント

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			新株予約権付社債 (転 換 社 債) 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落 中 率		
	円		円	%	%	百万円
3 期(2022年 5 月10日)	10,027		0	△16.7	99.2	1,890
4 期(2023年 5 月10日)	9,644		0	△ 3.8	99.3	1,645
5 期(2024年 5 月10日)	9,596		0	△ 0.5	101.4	1,235
6 期(2025年 5 月12日)	10,002		0	4.2	99.1	1,070
7 期(2026年 5 月11日)	11,666		0	16.6	97.8	1,046

(注) 基準価額、税込み分配金は 1 万口当たり。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、新株予約権付社債（転換社債）組入比率は実質比率を記載しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		新株予約権付社債 (転 換 社 債) 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首)	円		%	%
2025年 5 月12日	10,002	—	—	99.1
5 月末	10,110		1.1	97.3
6 月末	10,351		3.5	98.8
7 月末	10,503		5.0	100.1
8 月末	10,569		5.7	97.4
9 月末	10,849		8.5	99.2
10月末	10,941		9.4	100.3
11月末	10,693		6.9	99.9
12月末	10,725		7.2	100.8
2026年 1 月末	11,164		11.6	97.3
2 月末	11,257		12.5	98.5
3 月末	10,579		5.8	100.0
4 月末	11,400		14.0	100.1
(期 末)				
2026年 5 月11日	11,666		16.6	97.8

(注) 基準価額は 1 万口当たり。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

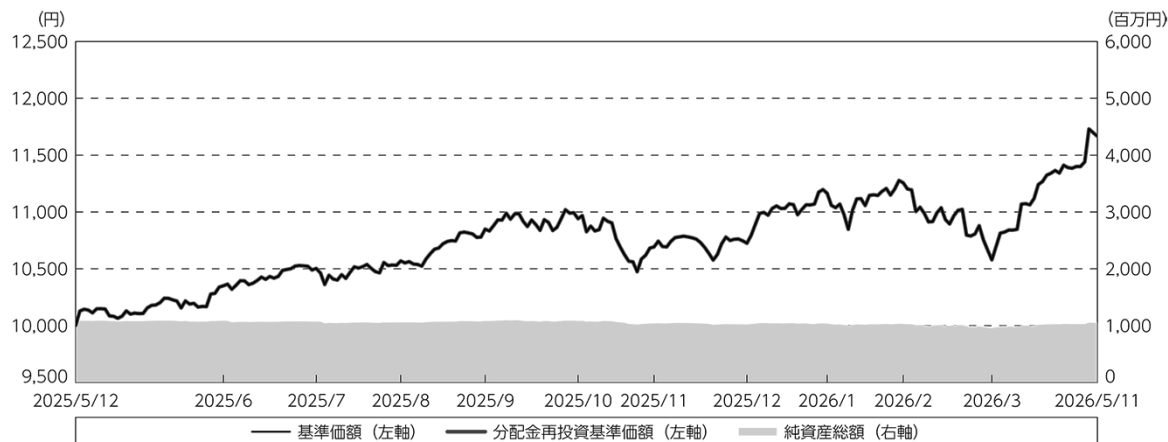
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、新株予約権付社債（転換社債）組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○運用経過

（2025年5月13日～2026年5月11日）

期中の基準価額等の推移



期 首：10,002円

期 末：11,666円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率： 16.6%（分配金再投資ベース）

- （注）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。
- （注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注）分配金再投資基準価額は、期首（2025年5月12日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- （注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- （注）当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○基準価額の主な変動要因

期首10,002円でスタートした基準価額は、11,666円（分配後）で期末を迎え、期首比16.6%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

当期、CB市場は上昇しました。株式市場の上昇局面において、CB市場は概ね株式市場に対して追随した一方、AI関連株の調整局面や地政学的リスクの高まりを受けた株式市場の下落局面において、CB市場は株式市場に対する下値抵抗力を発揮し、期を通して堅調な推移となりました。

投資環境

当期初から期末における株式市場は、米国の金融政策や地政学的要因を背景に上下動を繰り返しながらも、総じて堅調な推移となりました。2025年半ばには、米中貿易摩擦の緩和や関税引き下げ合意を受けて投資家心理が改善し、株価は上昇しました。一方、中東情勢の緊張や一部経済指標の鈍化を背景に、一時的に下落する場面も見られました。夏場には、米国の半導体・IT企業を中心とした好決算や欧州株の堅調な推移が市場を下支えしましたが、AI関連銘柄を中心に利益確定売りも見られ、上値の重い展開となる局面もありました。その後、米国の金融緩和期待の高まりや欧州の財政出動、中国の景気刺激策などを背景に市場は再び上昇しましたが、年末にかけてはAI関連株の割高感やインフレ懸念の再燃を受けて調整局面に入りました。2026年に入ると、AI投資の持続性に対する懸念からハイテク株は不安定な動きとなりましたが、金融やエネルギーなどの循環株への資金シフトが見られ、市場の広がりが意識されました。しかし2月以降、AI関連株の調整に加え、地政学的リスクの高まりを背景に市場は再び軟調となりました。3月にはエネルギー供給懸念の高まりを受けてリスク回避姿勢が強まり、株式市場は下落しましたが、その後は落ち着きを取り戻し、期を通しては堅調な推移となりました。このような環境下、CB市場においては、一般消費財・サービス、不動産セクターがやや軟調となったものの、その他の業種は堅調となり、特にインフォメーションテクノロジー、通信セクターが堅調となり上昇し、CBの特性である、株式市場に対する上昇追随力を発揮した動きとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドが主要投資対象としているシュローダー・グローバルCBマザーファンドの運用について

ポートフォリオでは、原資産の株式に対する感応度が相対的に低いCBへの投資および満期保有を基本戦略とし、ポートフォリオ全体の格付けについてはBBB一格としています。また、CB市場の非効率性を捉え、割安と考える銘柄に対する選別投資を実施しました。セクター別ではインフォメーションテクノロジーの組入比率を引き続き高位としています。また、国別においては米国および中国、日本を強気とした運用を行いました。

（格付はS&P、フィッチ・レーティングス、ムーディーズのうち上位の格付を採用し、格付が取得できない銘柄についてはシュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社の内部格付けを使用しております。ポートフォリオ全体の格付け（平均格付）については、それらの情報を基に組入銘柄にかかる格付を加重平均したものであり、当該ポートフォリオ自体の信用格付ではありません。以下、同じです。）

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準、市場動向、信託財産の規模等を考慮し、当期の収益分配は見送らせていただきました。なお、留保益については、特に制限を設けず、当社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第 7 期
	2025年5月13日～ 2026年5月11日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	— %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,666

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

グローバルＣＢ市場における投資機会は拡大基調となることが見込まれます。ＡＩ関連中心の設備投資が拡大する中で、ＣＢは企業の柔軟な資金調達手段として活用されることが予想されます。また、株式市場のボラティリティが高止まりする局面においては、リスク管理を重視した投資家の選好がＣＢ市場の支えとなっています。発行動向についても、グローバルで活発な発行が続くと考えます。市場変動が大きい中でも、2026年4月末時点で年初来のグローバルＣＢの新規発行は例年同月の約2.5倍の水準となりました。世界各国で金利上昇が見られる中、資金調達手段としてＣＢ需要が高まる見通しです。こうした発行環境や、資金需要の定着を背景に、ＡＩインフラやデータセンター、素材・鉱業など、資本集約的な領域での投資テーマが今後もＣＢ発行を支えると考えます。米国が引き続き発行の中心となる一方、アジア（日本含む）も成長投資や企業改革を背景に一定の存在感を維持する見通しです。金融政策や財政状況の地域差が広がる中、金融市場では個別企業の事業基盤や財務状況に基づく選別が重視されており、ＣＢ投資においてもクレジット分析の重要性が高まっています。株式の上昇局面を捉えることが可能である一方、景気後退局面においてはクーポン収入や債券の性質が強まることで下値抵抗力を発揮することが期待できるＣＢは、このようなボラティリティが高まる環境下において魅力的な投資対象と考えます。今後も各国の経済状況や金融政策、セクター別の展開を踏まえたポートフォリオの構築を行っていく方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2025年5月13日～2026年5月11日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 57	% 0.532	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(54)	(0.505)	・ ファンドの運用判断、受託会社への指図 ・ 基準価額の算出ならびに公表
(販 売 会 社)	(0)	(0.001)	・ 運用報告書等法定書面の作成、および受益者への情報提供資料の作成等 ・ 運用報告書等各種書類の交付
(受 託 会 社)	(3)	(0.026)	・ 口座内でのファンドの管理、および受益者への情報提供等 ・ ファンドの財産保管・管理 ・ 委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.000	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(新 株 予 約 権 証 券)	(0)	(0.000)	
(c) そ の 他 費 用	10	0.091	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(4)	(0.034)	・ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.012)	・ 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(2)	(0.019)	・ 印刷費用は、印刷会社等に支払う運用報告書作成等に係る費用
(そ の 他)	(3)	(0.027)	・ その他は、グローバルな取引主体識別子（LEI: Legal Entity Identifier）登録費用、信託事務の処理に要するその他の諸経費等
合 計	67	0.623	
期中の平均基準価額は、10,761円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2025年5月13日～2026年5月11日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
シュローダー・グローバルC Bマザーファンド	千口 14,773	千円 27,187	千口 212,224	千円 367,692

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2025年5月13日～2026年5月11日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2026年5月11日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
シュローダー・グローバルC Bマザーファンド	千口 718,310	千口 520,859	千円 1,038,854

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2026年5月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
シュローダー・グローバルC Bマザーファンド	千円 1,038,854	% 98.9
コール・ローン等、その他	11,030	1.1
投資信託財産総額	1,049,884	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) シュローダー・グローバルC Bマザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(2,814,676千円)の投資信託財産総額(3,063,998千円)に対する比率は91.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル＝157.01円、1ユーロ＝184.75円、1香港ドル＝20.06円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2026年5月11日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,033,231,896
シュローダー・グローバルC Bマザーファンド(評価額)	1,038,854,599
未収入金	994,377,297
(B) 負債	986,252,232
未払金	983,402,087
未払信託報酬	2,690,503
その他未払費用	159,642
(C) 純資産総額(A－B)	1,046,979,664
元本	897,447,045
次期繰越損益金	149,532,619
(D) 受益権総口数	897,447,045口
1万口当たり基準価額(C／D)	11,666円

[元本増減]

期首元本額	1,070,517,909円
期中追加設定元本額	0円
期中一部解約元本額	173,070,864円

○損益の状況（2025年5月13日～2026年5月11日）

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	155,463,804
売買益	358,437,935
売買損	△202,974,131
(B) 信託報酬等	△ 6,137,970
(C) 当期損益金(A＋B)	149,325,834
(D) 前期繰越損益金	△114,478,250
(E) 追加信託差損益金	114,685,035
(配当等相当額)	(5,822,799)
(売買損益相当額)	(108,862,236)
(F) 計(C＋D＋E)	149,532,619
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F＋G)	149,532,619
追加信託差損益金	114,685,035
(配当等相当額)	(5,822,799)
(売買損益相当額)	(108,862,236)
分配準備積立金	80,306,723
繰越損益金	△ 45,459,139

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(8,217,675円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(69,225,896円)および分配準備積立金(72,089,048円)より分配対象収益は149,532,619円(10,000口当たり1,666円)ですが、当期に分配した金額はありません。

(注) 当ファンドの投資信託財産の運用を行うマザーファンドの運用委託先に対する報酬・費用は、運用権限委託契約に定められた報酬額を当ファンドの委託者報酬から支払っております。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----

〈シュローダー・グローバルCBマザーファンド 第7期〉

【計算期間 2025年5月13日から2026年5月11日まで】

信 託 期 間	無期限
決 算 日	毎年5月10日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日。
運 用 方 針	信託財産の成長をめざして運用を行います。
主 要 投 資 対 象	世界（日本を含む）の転換社債を主な投資対象とします。
運 用 方 法 お よ び 組 入 制 限	・ 株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・ 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・ 運用にあたってはシュローダー・インベストメント・マネージメント・リミテッドに外貨建資産等の運用の指図に関する権限を委託します。

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額	新株予約権付社債 (転 換 社 債) 組 入 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落 中 率		
	円	%	%	百万円
3 期 (2022年 5 月10日)	11,995	△ 4.7	97.0	4,083
4 期 (2023年 5 月10日)	12,534	4.5	98.3	3,785
5 期 (2024年 5 月10日)	14,770	17.8	98.3	3,305
6 期 (2025年 5 月12日)	15,285	3.5	96.6	2,937
7 期 (2026年 5 月11日)	19,945	30.5	98.6	3,021

(注) 基準価額は 1 万口当たり。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	新株予約権付社債 (転 換 社 債) 組 入 比 率
		騰 落 率	
(期 首)	円	%	%
2025年 5 月12日	15,285	—	96.6
5 月末	15,321	0.2	98.1
6 月末	15,903	4.0	98.5
7 月末	16,588	8.5	99.5
8 月末	16,530	8.1	97.5
9 月末	17,244	12.8	97.9
10月末	17,968	17.6	97.8
11月末	17,904	17.1	98.5
12月末	18,044	18.1	99.7
2026年 1 月末	18,563	21.4	99.3
2 月末	18,969	24.1	96.8
3 月末	18,241	19.3	99.4
4 月末	19,828	29.7	99.2
(期 末)			
2026年 5 月11日	19,945	30.5	98.6

(注) 基準価額は 1 万口当たり。

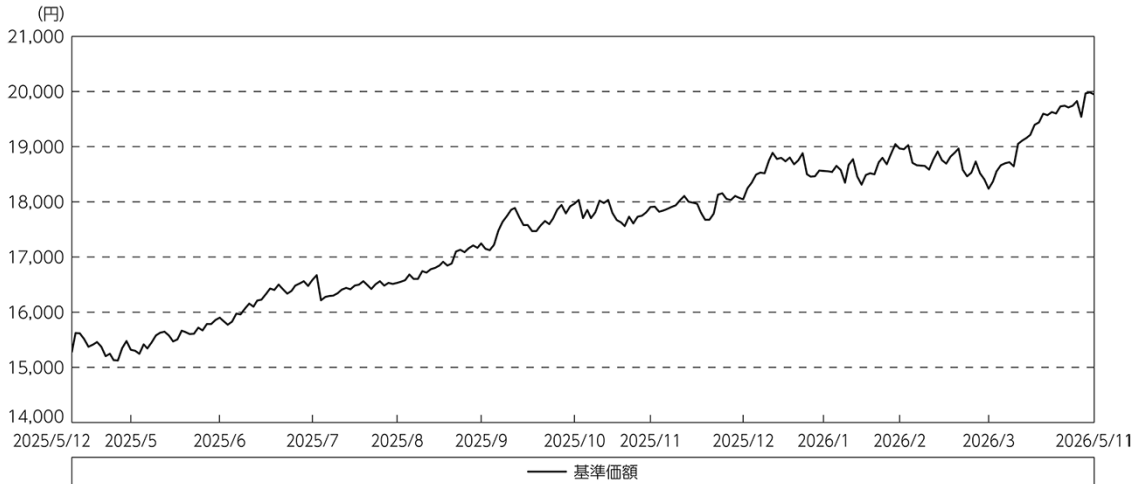
(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○運用経過

(2025年5月13日～2026年5月11日)

期中の基準価額等の推移



(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○基準価額の主な変動要因

期首15,285円でスタートした基準価額は、19,945円で期末を迎え、期首比30.5%の上昇となりました。

当期、CB市場は上昇しました。株式市場の上昇局面において、CB市場は概ね株式市場に対して追随した一方、AI関連株の調整局面や地政学的リスクの高まりを受けた株式市場の下落局面において、CB市場は株式市場に対する下値抵抗力を発揮し、期を通して堅調な推移となりました。

投資環境

当期初から期末における株式市場は、米国の金融政策や地政学的要因を背景に上下動を繰り返しながらも、総じて堅調な推移となりました。2025年半ばには、米中貿易摩擦の緩和や関税引き下げ合意を受けて投資家心理が改善し、株価は上昇しました。一方、中東情勢の緊張や一部経済指標の鈍化を背景に、一時的に下落する場面も見られました。夏場には、米国の半導体・IT企業を中心とした好決算や欧州株の堅調な推移が市場を下支えしましたが、AI関連銘柄を中心に利益確定売りも見られ、上値の重い展開となる局面もありました。その後、米国の金融緩和期待の高まりや欧州の財政出動、中国の景気刺激策などを背景に市場は再び上昇しましたが、年末にかけてはAI関連株の割高感やインフレ懸念の再燃を受けて調整局面に入りました。2026年に入ると、AI投資の持続性に対する懸念からハイテク株は不安定な動きとなりましたが、金融やエネルギーなどの循環株への資金シフトが見られ、市場の広がりが意識されました。しかし2月以降、AI関連株の調整に加え、地政学的リスクの高まりを背景に市場は再び軟調となりました。3月にはエネルギー供給懸念の高まりを受けてリスク回避姿勢が強まり、株式市場は下落しましたが、その後は落ち着きを取り戻し、期を通しては堅調な推移となりました。このような環境下、CB市場においては、一般消費財・サービス、不動産セクター

がやや軟調となったものの、その他の業種は堅調となり、特にインフォメーションテクノロジー、通信セクターが堅調となり上昇し、ＣＢの特性である、株式市場に対する上昇追随力を発揮した動きとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

ポートフォリオでは、原資産の株式に対する感応度が相対的に低いＣＢへの投資および満期保有を基本戦略とし、ポートフォリオ全体の格付けについてはＢＢＢー格としています。また、ＣＢ市場の非効率性を捉え、割安と考える銘柄に対する選別投資を実施しました。セクター別ではインフォメーションテクノロジーの組入比率を引き続き高位としています。また、国別においては米国および中国、日本を強気とした運用を行いました。

（格付けはＳ＆Ｐ、フィッチ・レーティングス、ムーディーズのうち上位の格付けを採用し、格付けが取得できない銘柄についてはシュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社の内部格付けを使用しております。ポートフォリオ全体の格付け（平均格付け）については、それらの情報を基に組入銘柄にかかる格付けを加平均したものであり、当該ポートフォリオ自体の信用格付けではありません。以下、同じです。）

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○今後の運用方針

グローバルＣＢ市場における投資機会は拡大基調となることが見込まれます。ＡＩ関連中心の設備投資が拡大する中で、ＣＢは企業の柔軟な資金調達手段として活用されることが予想されます。また、株式市場のボラティリティが高止まりする局面においては、リスク管理を重視した投資家の選好がＣＢ市場の支えとなっています。発行動向についても、グローバルで活発な発行が続くと考えます。市場変動が大きい中でも、2026年4月末時点で年初来のグローバルＣＢの新規発行は例年同月の約2.5倍の水準となりました。世界各国で金利上昇が見られる中、資金調達手段としてＣＢ需要が高まる見通しです。こうした発行環境や、資金需要の定着を背景に、ＡＩインフラやデータセンター、素材・鉱業など、資本集約的な領域での投資テーマが今後もＣＢ発行を支えると考えます。米国が引き続き発行の中心となる一方、アジア（日本含む）も成長投資や企業改革を背景に一定の存在感を維持する見通しです。金融政策や財政状況の地域差が広がる中、金融市場では個別企業の事業基盤や財務状況に基づく選別が重視されており、ＣＢ投資においてもクレジット分析の重要性が高まっています。株式の上昇局面を捉えることが可能である一方、景気後退局面においてはクーポン収入や債券の性質が強まることで下値抵抗力を発揮することが期待できるＣＢは、このようなボラティリティが高まる環境下において魅力的な投資対象と考えます。今後も各国の経済状況や金融政策、セクター別の展開を踏まえたポートフォリオの構築を行っていく方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年5月13日～2026年5月11日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (新 株 予 約 権 証 券)	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	7 (6) (1)	0.038 (0.034) (0.004)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・その他は、グローバルな取引主体識別子 (L E I : Legal Entity Identifier) 登録費用、信託事務の処理に要するその他の諸経費等
合 計	7	0.038	
期中の平均基準価額は、17,591円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（投資証券等を含む）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2025年5月13日～2026年5月11日)

新株予約権証券

		買 付		売 付	
		証 券 数	金 額	証 券 数	金 額
外 国	アメリカ	証券 － (691)	千米ドル － (2)	証券 691	千米ドル 2

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) () 内は権利行使および権利行使期間満了等による増減分です。

新株予約権付社債（転換社債）

		買 付		売 付	
		額 面	金 額	額 面	金 額
国内		千円 20,000	千円 21,415	千円 230,000	千円 280,191
外 国	アメリカ	千米ドル 10,429	千米ドル 11,174	千米ドル 11,679 (-)	千米ドル 14,335 (2)
	ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	400	406	500	522
	イタリア	—	—	300	341
	フランス	548	609	381	482
	オランダ	100	100	300	302
	スペイン	—	—	200	244
	オーストリア	100	110	—	—
	その他	800	799	100	95
	香港	千香港ドル 6,000	千香港ドル 6,449	千香港ドル —	千香港ドル —

(注) 金額は約定代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は予約権行使・償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2025年5月13日～2026年5月11日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2026年5月11日現在)

国内新株予約権付社債（転換社債）

銘	柄	当 期 末	
		額 面 金 額	評 価 額
		千円	千円
CYBERAGENT INC 0%	29/11/16	10,000	10,767
FERROTEC HOLDINGS 0%	28/06/23	10,000	26,933
TOKYU CORP 0%	28/09/29	10,000	10,005
DAIFUKU CO 0%	30/09/13	10,000	22,122
ANA HOLDINGS INC 0%	31/12/10	20,000	22,285
DAIWA HOUSE INDUST 0%	29/03/30	20,000	20,480
KANSAI PAINT CO 0%	31/03/07	10,000	10,252
RESONAC HOLDINGS C 0%	28/12/29	10,000	35,465
SBI HOLDINGS INC 0%	31/07/25	10,000	14,334
ROHTO PHARMACEUTIC 0%	32/03/15	10,000	10,622
NIPPON STEEL CORP 0%	31/02/14	10,000	10,205
ADVANTEST CORP 0%	31/03/28	10,000	12,162
合 計	額 面 金 額	140,000	205,635
	銘 柄 数 < 比 率 >	12	< 6.8% >

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 単位未満は切捨て。

外国新株予約権付社債（転換社債）

銘 柄	当 期 末		
	額 面 金 額	評 価 額	
		外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)	千米ドル	千米ドル	千円
ON SEMICONDUCTOR 0% CB	50	98	15,388
NUTANIX INC 0.25% CB	50	54	8,580
ORMAT TECH 2.5% CB	50	69	10,849
CYTOKINETICS 3.5% CB	50	79	12,496
HALOZYME THER 1.0% CB	150	191	30,075
NOG INC 3.625% CB	175	177	27,902
LANTHEUS HLD 2.625% CB	50	67	10,541
IONIS PHARMA 1.75% CB	51	76	12,016
GIGABYTE TECHNOLO 0% CB	200	219	34,463
TETRA TECH INC 2.25% CB	25	26	4,204
AKAMAI TECHNO 1.125% CB	150	205	32,236
QUANTA COMPUTER 0% CB	200	223	35,162
LIVE NATION E 3.125% CB	25	40	6,332
HON HAI PRECISION 0% CB	200	214	33,637
UBER TECHNOLO 0.875% CB	145	178	27,997
PG&E CORPORATI 4.25% CB	100	101	15,987
EXACT SCIENCES CO 2% CB	50	71	11,161
REPLIGEN CORP 1.0% CB	30	30	4,726
GOLDMAN SACHS 0% CB	100	100	15,701
LYFT INC 0.625% CB	50	52	8,309
NEXTERA ENERGY 3.0% CB	143	198	31,203
PARSONS CORP 2.625% CB	150	146	23,061
MORGAN STANLEY FI 0% CB	100	187	29,391
BAIDU INC 0% CB	200	188	29,615
GLOBAL PAYMENTS 1.5% CB	297	265	41,619
GUARDANT HEALT 1.25% CB	30	52	8,213
MORGAN STANLEY FI 0% CB	100	140	22,055
FLUOR CORP 1.125% CB	50	59	9,304
WAYFAIR INC 3.5% CB	25	39	6,241
SOUTHERN CO 4.5% CB	400	433	68,001
AKAMAI TECHNOL 0.25% CB	131	228	35,886
MKS INSTRUMENT 1.25% CB	25	53	8,417
DOORDASH INC 0% CB	200	190	29,910
JD.COM INC 0.25% CB	240	245	38,511
TRIP COM GROUP 0.75% CB	188	200	31,414
GRAB HOLDINGS LTD 0% CB	122	119	18,685
RUBRIK INC 0% CB	119	111	17,539
CLOUDFLARE INC 0% CB	345	392	61,567
ETSY INC 1% CB	100	108	16,964
MAKEMYTRIP LTD 0.0% CB	33	29	4,588
AEROVIRONMENT INC 0% CB	108	103	16,261

銘 柄	当 期 末		
	額 面 金 額	評 価 額	
		外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)	千米ドル	千米ドル	千円
GDS HOLDINGS 2.25% CB	75	115	18,203
MICROCHIP TECH 0.75% CB	100	112	17,624
GAMESTOP CORP 0% CB	150	159	24,976
CYBERARK SOFTWARE 0% CB	200	233	36,705
RIVIAN AUTO 3.625% CB	300	288	45,294
COINBASE GLOBAL 0% CB	308	269	42,326
EURONET WORLD 0.625% CB	81	72	11,342
TERAWULF INC 1% CB	89	183	28,856
AVNET INC 1.75% CB	75	98	15,402
MARA HOLDINGS INC 0% CB	50	48	7,618
NEBIUS GROUP 2.75% CB	250	376	59,094
ALIBABA GROUP HLD 0% CB	450	461	72,385
LUMENTUM HOLD 0.375% CB	35	170	26,842
EVERGY INC 4.5% CB	100	134	21,168
WEC ENERGY 4.375% CB	50	58	9,177
SNOWFLAKE INC 0% CB	80	96	15,098
BOSTON PTYS 2% CB	105	99	15,554
ENERGY FUELS 0.75% CB	92	122	19,211
SOLARIS ENERGY 0.25% CB	50	76	11,957
GUIDEWIRE SOFT 1.25% CB	47	46	7,314
BLOOM ENERGY 0% CB	241	396	62,192
KCC CORP 1.75% CB	200	241	37,896
EXELON CORP 3.25% CB	20	20	3,145
UPSTART HLDGS 2% CB	25	26	4,104
BWX TECHNOLOGIES 0% CB	175	185	29,111
MICROSTRATEGY 0.875% CB	150	176	27,777
COREWEAVE INC 1.75% CB	162	215	33,853
DATADOG INC 0% CB	77	94	14,782
RIOT PLATFORMS 0.75% CB	50	91	14,304
CLEANSARK INC 0% CB	50	64	10,111
ZOETIS INC 0.25% CB	33	30	4,759
LIVE NATION E 2.875% CB	118	134	21,046
REALTY INCOME 3.5% CB	50	51	8,121
CHECK POINT SFTWR 0% CB	100	91	14,303
IREN LTD 0.25% CB	100	139	21,883
ARROWHEAD PHARMAC 0% CB	4	4	705
ENDEAVOUR SILV 0.25% CB	25	28	4,483
GOLDMAN SACHS FIN 0% CB	100	161	25,352
JINKAI INVESTMENT 0% CB	400	384	60,294
MORGAN STANLEY FI 0% CB	100	99	15,589
MICROCHIP TECH 0% CB	230	273	42,996
ALLIANT ENERGY 3.25% CB	75	79	12,520
BRIDGEBIO 1.75% CB	75	118	18,638

シュローダー・グローバルCBマザーファンド

銘 柄		当 期 末		
		額 面 金 額	評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)		千米ドル	千米ドル	千円
WIWYNN CORP 0% CB		200	258	40,508
HD KOREA SHIPBUI 0% CB		200	270	42,392
BILIBILI INC 0.625% CB		200	236	37,168
COREWEAVE INC 1.75% CB		33	40	6,367
NCL CORP 0.875% CB		150	153	24,169
ZTO EXPRESS 0.925% CB		200	205	32,300
MERIT MEDICAL 3.0% CB		62	64	10,124
ON SEMICONDUCTOR 0% CB		15	15	2,388
小 計	額 面 ・ 金 額	11,314	13,348	2,095,781
	銘 柄 数 < 比 率 >	92	—	<69.4%>
(ユーロ・・・ドイツ)		千ユーロ	千ユーロ	千円
RAG-STIFTUNG 2.25% CB		100	111	20,582
TUI AG 1.95% CB		100	108	20,032
VONOVIA SE 0% CB		200	191	35,353
SALZGITTER AG 3.375% CB		100	144	26,615
MTU AERO ENGINES 0% CB		100	93	17,230
小 計	額 面 ・ 金 額	600	648	119,814
	銘 柄 数 < 比 率 >	5	—	<4.0%>
(ユーロ・・・イタリア)		千ユーロ	千ユーロ	千円
ENI SPA 2.95% CB		100	133	24,710
小 計	額 面 ・ 金 額	100	133	24,710
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	<0.8%>
(ユーロ・・・フランス)		千ユーロ	千ユーロ	千円
SCHNEIDER ELEC 1.97% CB		200	275	50,867
VINCI 0.7% CB		100	108	20,071
LEGRAND SA 1.5% CB		100	118	21,865
EXAIL TECH 4% CB		100	127	23,602
ACCOR SA CONV 0.7% CB		38	43	8,075
小 計	額 面 ・ 金 額	538	673	124,481
	銘 柄 数 < 比 率 >	5	—	<4.1%>
(ユーロ・・・オランダ)		千ユーロ	千ユーロ	千円
MERRILL LYNCH 0.1% CB		100	91	16,847
FERROVIAL SE 0.75% CB		100	104	19,376
小 計	額 面 ・ 金 額	200	196	36,224
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	—	<1.2%>
(ユーロ・・・スペイン)		千ユーロ	千ユーロ	千円
IBERDROLA FINAN 0.8% CB		100	148	27,378
小 計	額 面 ・ 金 額	100	148	27,378
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	<0.9%>
(ユーロ・・・オーストリア)		千ユーロ	千ユーロ	千円
VOESTALPINE 2.75% CB		100	122	22,642
小 計	額 面 ・ 金 額	100	122	22,642
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	<0.7%>

銘 柄		当 期 末		
		額 面 金 額	評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(ユーロ・・・その他)		千ユーロ	千ユーロ	千円
JPMORGAN CHASE 0.5% CB		100	108	20,112
GOLDMAN SACHS 0% CB		500	455	84,143
CITIGROUP GLOBAL 0.8% CB		100	106	19,601
GOLDMAN SACHS 0% CB		100	149	27,670
ANLLIAN CAPITAL 2.0% CB		200	195	36,026
小 計	額 面 ・ 金 額	1,000	1,015	187,554
	銘 柄 数 < 比 率 >	5	—	<6.2%>
ユ ー ロ 計	額 面 ・ 金 額	2,638	2,938	542,805
	銘 柄 数 < 比 率 >	20	—	<18.0%>
(香港)		千香港ドル	千香港ドル	千円
CHINA PACIFIC INS 0% CB		2,000	2,131	42,750
PING AN INSURANCE 0% CB		2,000	2,530	50,762
MIDEA INVESTMENT 0% CB		2,000	1,998	40,079
小 計	額 面 ・ 金 額	6,000	6,659	133,593
	銘 柄 数 < 比 率 >	3	—	<4.4%>
合 計	額 面 ・ 金 額	—	—	2,772,180
	銘 柄 数 < 比 率 >	115	—	<91.7%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) < >内の比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2026年5月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
新株予約権付社債(転換社債)	千円 2,977,816	% 97.2
コール・ローン等、その他	86,182	2.8
投資信託財産総額	3,063,998	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(2,814,676千円)の投資信託財産総額(3,063,998千円)に対する比率は91.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=157.01円、1ユーロ=184.75円、1香港ドル=20.06円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年5月11日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	3,072,618,194
コール・ローン等	66,715,191
公社債(評価額)	2,977,816,287
未収入金	21,373,350
未収利息	6,207,996
前払費用	505,370
(B) 負債	51,113,682
未払金	51,113,682
(C) 純資産総額(A－B)	3,021,504,512
元本	1,514,949,410
次期繰越損益金	1,506,555,102
(D) 受益権総口数	1,514,949,410口
1万口当たり基準価額(C／D)	19,945円

[元本増減]	
期首元本額	1,921,807,663円
期中追加設定元本額	28,485,432円
期中一部解約元本額	435,343,685円

[当マザーファンドの当期末における元本の内訳]	
シュローダー・グローバルC Bファンド(少数私募)	為替ヘッジあり 520,859,664円
シュローダー・グローバルC Bファンド(少数私募)	為替ヘッジなし 994,089,746円

○損益の状況 (2025年5月13日～2026年5月11日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	26,166,862
受取利息	26,153,396
その他収益金	13,466
(B) 有価証券売買損益	755,326,584
売買益	913,990,094
売買損	△ 158,663,510
(C) 保管費用等	△ 1,128,133
(D) 当期損益金(A+B+C)	780,365,313
(E) 前期繰越損益金	1,015,757,763
(F) 追加信託差損益金	22,862,289
(G) 解約差損益金	△ 312,430,263
(H) 計(D+E+F+G)	1,506,555,102
次期繰越損益金(H)	1,506,555,102

- (注) 損益の状況の中で(B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注) 損益の状況の中で(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注) 損益の状況の中で(G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／内外／その他資産（転換社債）	
信 託 期 間	2019年7月1日から2029年5月10日まで	
運 用 方 針	信託財産の成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	シュローダー・グローバルCBマザーファンドの受益証券を主な投資対象とします。
	シュローダー・グローバルCBマザーファンド	世界（日本を含む）の転換社債を主な投資対象とします。
運用方法および組入制限	当ファンド	・マザーファンド受益証券への投資を通じて運用を行います。 ・マザーファンド組入比率には制限を設けません。 ・実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
	シュローダー・グローバルCBマザーファンド	・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・運用にあたってはシュローダー・インベストメント・マネージメント・リミテッドに外貨建資産等の運用の指図に関する権限を委託します。
分 配 方 針	年1回の毎決算時（毎年5月10日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日。）に原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。 なお、収益分配を行わない場合があります。	

シュローダー・グローバル CBファンド（少人数私募） 為替ヘッジなし

第7期 運用報告書(全体版)

（決算日 2026年5月11日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、「シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募） 為替ヘッジなし」は、2026年5月11日に第7期の決算を行いました。

ここに、謹んで期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町二丁目6番4号

<http://www.schroders.co.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

- ・投資信託営業部 電話番号 03-5293-1323
- ・受付時間 9:00～17:00（土・日・祝日は除く）

Schroders
シュローダー・インベストメント・マネジメント

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			新株予約権付社債 (転 換 社 債) 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落 中 率		
	円		円	%	%	百万円
3 期(2022年 5 月10日)	11, 806		0	△ 5. 2	97. 3	2, 143
4 期(2023年 5 月10日)	12, 268		0	3. 9	98. 5	2, 116
5 期(2024年 5 月10日)	14, 378		0	17. 2	98. 6	2, 026
6 期(2025年 5 月12日)	14, 798		0	2. 9	96. 9	1, 834
7 期(2026年 5 月11日)	19, 210		0	29. 8	98. 8	1, 977

(注) 基準価額、税込み分配金は 1 万口当たり。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、新株予約権付社債（転換社債）組入比率は実質比率を記載しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		新株予約権付社債 (転 換 社 債) 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首)	円		%	%
2025年 5 月12日	14, 798	—	—	96. 9
5 月末	14, 829		0. 2	98. 1
6 月末	15, 385		4. 0	98. 6
7 月末	16, 041		8. 4	99. 7
8 月末	15, 977		8. 0	97. 7
9 月末	16, 661		12. 6	98. 1
10月末	17, 354		17. 3	98. 0
11月末	17, 284		16. 8	98. 5
12月末	17, 411		17. 7	99. 7
2026年 1 月末	17, 904		21. 0	99. 4
2 月末	18, 288		23. 6	97. 0
3 月末	17, 576		18. 8	99. 6
4 月末	19, 100		29. 1	99. 4
(期 末)				
2026年 5 月11日	19, 210		29. 8	98. 8

(注) 基準価額は 1 万口当たり。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

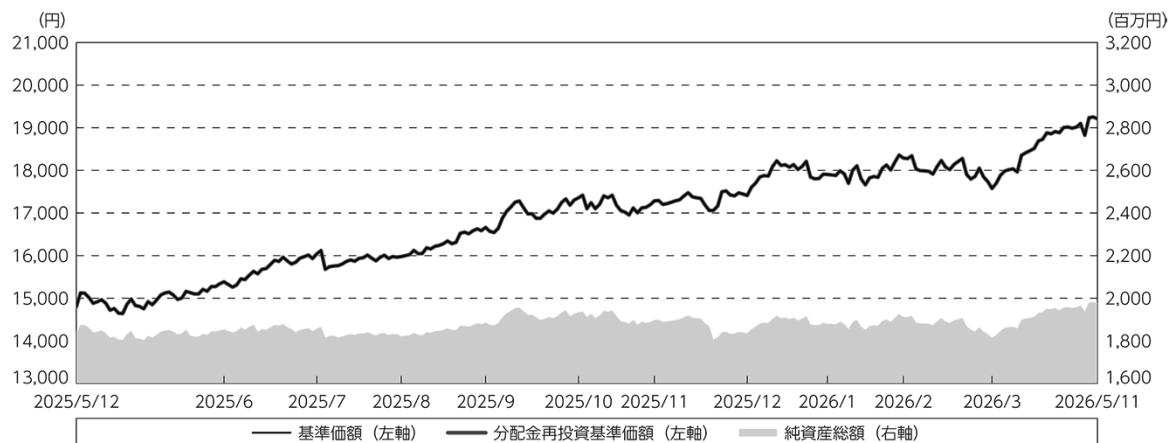
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、新株予約権付社債（転換社債）組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○運用経過

（2025年5月13日～2026年5月11日）

期中の基準価額等の推移



期 首：14,798円

期 末：19,210円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率： 29.8%（分配金再投資ベース）

- （注）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。
- （注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注）分配金再投資基準価額は、期首（2025年5月12日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- （注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- （注）当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○基準価額の主な変動要因

期首14,798円でスタートした基準価額は、19,210円（分配後）で期末を迎え、期首比29.8%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

当期、CB市場は上昇しました。株式市場の上昇局面において、CB市場は概ね株式市場に対して追随した一方、AI関連株の調整局面や地政学的リスクの高まりを受けた株式市場の下落局面において、CB市場は株式市場に対する下値抵抗力を発揮し、期を通して堅調な推移となりました。

投資環境

当期初から期末における株式市場は、米国の金融政策や地政学的要因を背景に上下動を繰り返しながらも、総じて堅調な推移となりました。2025年半ばには、米中貿易摩擦の緩和や関税引き下げ合意を受けて投資家心理が改善し、株価は上昇しました。一方、中東情勢の緊張や一部経済指標の鈍化を背景に、一時的に下落する場面も見られました。夏場には、米国の半導体・IT企業を中心とした好決算や欧州株の堅調な推移が市場を下支えしましたが、AI関連銘柄を中心に利益確定売りも見られ、上値の重い展開となる局面もありました。その後、米国の金融緩和期待の高まりや欧州の財政出動、中国の景気刺激策などを背景に市場は再び上昇しましたが、年末にかけてはAI関連株の割高感やインフレ懸念の再燃を受けて調整局面に入りました。2026年に入ると、AI投資の持続性に対する懸念からハイテク株は不安定な動きとなりましたが、金融やエネルギーなどの循環株への資金シフトが見られ、市場の広がりが意識されました。しかし2月以降、AI関連株の調整に加え、地政学的リスクの高まりを背景に市場は再び軟調となりました。3月にはエネルギー供給懸念の高まりを受けてリスク回避姿勢が強まり、株式市場は下落しましたが、その後は落ち着きを取り戻し、期を通しては堅調な推移となりました。このような環境下、CB市場においては、一般消費財・サービス、不動産セクターがやや軟調となったものの、その他の業種は堅調となり、特にインフォメーションテクノロジー、通信セクターが堅調となり上昇し、CBの特性である、株式市場に対する上昇追随力を発揮した動きとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドが主要投資対象としているシュローダー・グローバルCBマザーファンドの運用について

ポートフォリオでは、原資産の株式に対する感応度が相対的に低いCBへの投資および満期保有を基本戦略とし、ポートフォリオ全体の格付けについてはBBB一格としています。また、CB市場の非効率性を捉え、割安と考える銘柄に対する選別投資を実施しました。セクター別ではインフォメーションテクノロジーの組入比率を引き続き高位としています。また、国別においては米国および中国、日本を強気とした運用を行いました。

（格付はS&P、フィッチ・レーティングス、ムーディーズのうち上位の格付を採用し、格付が取得できない銘柄についてはシュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社の内部格付けを使用しております。ポートフォリオ全体の格付け（平均格付）については、それらの情報を基に組入銘柄にかかる格付を加重平均したものであり、当該ポートフォリオ自体の信用格付ではありません。以下、同じです。）

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準、市場動向、信託財産の規模等を考慮し、当期の収益分配は見送らせていただきました。なお、留保益については、特に制限を設けず、当社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第 7 期
	2025年5月13日～ 2026年5月11日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	— %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	9,210

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

グローバルＣＢ市場における投資機会は拡大基調となることが見込まれます。ＡＩ関連中心の設備投資が拡大する中で、ＣＢは企業の柔軟な資金調達手段として活用されることが予想されます。また、株式市場のボラティリティが高止まりする局面においては、リスク管理を重視した投資家の選好がＣＢ市場の支えとなっています。発行動向についても、グローバルで活発な発行が続くと考えます。市場変動が大きい中でも、2026年4月末時点で年初来のグローバルＣＢの新規発行は例年同月の約2.5倍の水準となりました。世界各国で金利上昇が見られる中、資金調達手段としてＣＢ需要が高まる見通しです。こうした発行環境や、資金需要の定着を背景に、ＡＩインフラやデータセンター、素材・鉱業など、資本集約的な領域での投資テーマが今後もＣＢ発行を支えると考えます。米国が引き続き発行の中心となる一方、アジア（日本含む）も成長投資や企業改革を背景に一定の存在感を維持する見通しです。金融政策や財政状況の地域差が広がる中、金融市場では個別企業の事業基盤や財務状況に基づく選別が重視されており、ＣＢ投資においてもクレジット分析の重要性が高まっています。株式の上昇局面を捉えることが可能である一方、景気後退局面においてはクーポン収入や債券の性質が強まることで下値抵抗力を発揮することが期待できるＣＢは、このようなボラティリティが高まる環境下において魅力的な投資対象と考えます。今後も各国の経済状況や金融政策、セクター別の展開を踏まえたポートフォリオの構築を行っていく方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年5月13日～2026年5月11日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	90	0.532	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(86)	(0.505)	・ ファンドの運用判断、受託会社への指図 ・ 基準価額の算出ならびに公表
(販 売 会 社)	(0)	(0.001)	・ 運用報告書等法定書面の作成、および受益者への情報提供資料の作成等 ・ 運用報告書等各種書類の交付
(受 託 会 社)	(4)	(0.026)	・ 口座内でのファンドの管理、および受益者への情報提供等 ・ ファンドの財産保管・管理 ・ 委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.000	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(新 株 予 約 権 証 券)	(0)	(0.000)	
(c) そ の 他 費 用	11	0.063	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(6)	(0.034)	・ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(2)	(0.011)	・ 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(2)	(0.015)	・ 印刷費用は、印刷会社等に支払う運用報告書作成等に係る費用
(そ の 他)	(1)	(0.004)	・ その他は、グローバルな取引主体識別子（LEI: Legal Entity Identifier）登録費用、信託事務の処理に要するその他の諸経費等
合 計	101	0.595	
期中の平均基準価額は、16,984円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2025年5月13日～2026年5月11日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
シュローダー・グローバルC Bマザーファンド	13, 711	24, 160	223, 118	380, 081

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2025年5月13日～2026年5月11日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2026年5月11日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
シュローダー・グローバルC Bマザーファンド	1, 203, 496	994, 089	1, 982, 711

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2026年5月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
シュローダー・グローバルC Bマザーファンド	1, 982, 711	100. 0
投資信託財産総額	1, 982, 711	100. 0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) シュローダー・グローバルC Bマザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(2, 814, 676千円)の投資信託財産総額(3, 063, 998千円)に対する比率は91. 9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル＝157. 01円、1ユーロ＝184. 75円、1香港ドル＝20. 06円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2026年5月11日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,982,711,998
シュローダー・グローバルC Bマザーファンド(評価額)	1,982,711,998
(B) 負債	5,212,991
未払信託報酬	4,977,203
その他未払費用	235,788
(C) 純資産総額(A－B)	1,977,499,007
元本	1,029,398,537
次期繰越損益金	948,100,470
(D) 受益権総口数	1,029,398,537口
1万口当たり基準価額(C／D)	19,210円

[元本増減]	
期首元本額	1,239,593,947円
期中追加設定元本額	14,199,231円
期中一部解約元本額	224,394,641円

○損益の状況（2025年5月13日～2026年5月11日）

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	461,703,382
売買益	497,482,400
売買損	△ 35,779,018
(B) 信託報酬等	△ 10,464,565
(C) 当期損益金(A＋B)	451,238,817
(D) 前期繰越損益金	324,804,502
(E) 追加信託差損益金	172,057,151
(配当等相当額)	(30,090,179)
(売買損益相当額)	(141,966,972)
(F) 計(C＋D＋E)	948,100,470
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F＋G)	948,100,470
追加信託差損益金	172,057,151
(配当等相当額)	(30,107,464)
(売買損益相当額)	(141,949,687)
分配準備積立金	776,043,319

- (注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(15,048,540円)、費用控除後の有価証券等損益額(436,190,277円)、信託約款に規定する収益調整金(172,057,151円)および分配準備積立金(324,804,502円)より分配対象収益は948,100,470円(10,000口当たり9,210円)ですが、当期に分配した金額はありません。

(注) 当ファンドの投資信託財産の運用を行うマザーファンドの運用委託先に対する報酬・費用は、運用権限委託契約に定められた報酬額を当ファンドの委託者報酬から支払っております。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	0円
----------------	----

〈シュローダー・グローバルCBマザーファンド 第7期〉

【計算期間 2025年5月13日から2026年5月11日まで】

信 託 期 間	無期限
決 算 日	毎年5月10日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日。
運 用 方 針	信託財産の成長をめざして運用を行います。
主 要 投 資 対 象	世界（日本を含む）の転換社債を主な投資対象とします。
運 用 方 法 お よ び 組 入 制 限	・ 株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・ 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・ 運用にあたってはシュローダー・インベストメント・マネージメント・リミテッドに外貨建資産等の運用の指図に関する権限を委託します。

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		新株予約権付社債 (転 換 社 債) 組 入 比 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率		
	円		%	%	百万円
3 期 (2022年 5 月10日)	11,995	△	4.7	97.0	4,083
4 期 (2023年 5 月10日)	12,534		4.5	98.3	3,785
5 期 (2024年 5 月10日)	14,770		17.8	98.3	3,305
6 期 (2025年 5 月12日)	15,285		3.5	96.6	2,937
7 期 (2026年 5 月11日)	19,945		30.5	98.6	3,021

(注) 基準価額は 1 万口当たり。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		新株予約権付社債 (転 換 社 債) 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首)	円		%	%
2025年 5 月12日	15,285	—	—	96.6
5 月末	15,321		0.2	98.1
6 月末	15,903		4.0	98.5
7 月末	16,588		8.5	99.5
8 月末	16,530		8.1	97.5
9 月末	17,244		12.8	97.9
10月末	17,968		17.6	97.8
11月末	17,904		17.1	98.5
12月末	18,044		18.1	99.7
2026年 1 月末	18,563		21.4	99.3
2 月末	18,969		24.1	96.8
3 月末	18,241		19.3	99.4
4 月末	19,828		29.7	99.2
(期 末)				
2026年 5 月11日	19,945		30.5	98.6

(注) 基準価額は 1 万口当たり。

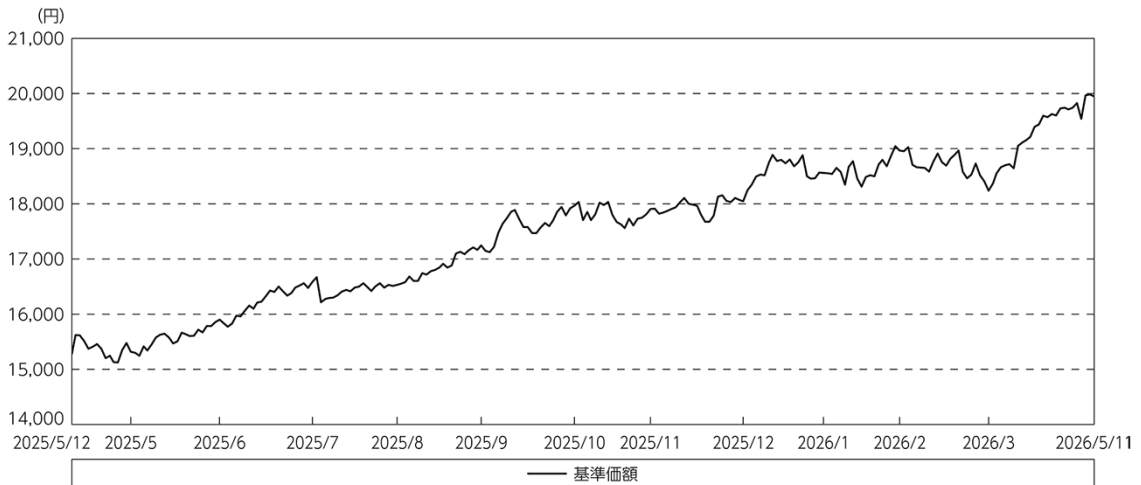
(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○運用経過

(2025年5月13日～2026年5月11日)

期中の基準価額等の推移



(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○基準価額の主な変動要因

期首15,285円でスタートした基準価額は、19,945円で期末を迎え、期首比30.5%の上昇となりました。

当期、CB市場は上昇しました。株式市場の上昇局面において、CB市場は概ね株式市場に対して追随した一方、AI関連株の調整局面や地政学的リスクの高まりを受けた株式市場の下落局面において、CB市場は株式市場に対する下値抵抗力を発揮し、期を通して堅調な推移となりました。

投資環境

当期初から期末における株式市場は、米国の金融政策や地政学的要因を背景に上下動を繰り返しながらも、総じて堅調な推移となりました。2025年半ばには、米中貿易摩擦の緩和や関税引き下げ合意を受けて投資家心理が改善し、株価は上昇しました。一方、中東情勢の緊張や一部経済指標の鈍化を背景に、一時的に下落する場面も見られました。夏場には、米国の半導体・IT企業を中心とした好決算や欧州株の堅調な推移が市場を下支えしましたが、AI関連銘柄を中心に利益確定売りも見られ、上値の重い展開となる局面もありました。その後、米国の金融緩和期待の高まりや欧州の財政出動、中国の景気刺激策などを背景に市場は再び上昇しましたが、年末にかけてはAI関連株の割高感やインフレ懸念の再燃を受けて調整局面に入りました。2026年に入ると、AI投資の持続性に対する懸念からハイテク株は不安定な動きとなりましたが、金融やエネルギーなどの循環株への資金シフトが見られ、市場の広がりが意識されました。しかし2月以降、AI関連株の調整に加え、地政学的リスクの高まりを背景に市場は再び軟調となりました。3月にはエネルギー供給懸念の高まりを受けてリスク回避姿勢が強まり、株式市場は下落しましたが、その後は落ち着きを取り戻し、期を通しては堅調な推移となりました。このような環境下、CB市場においては、一般消費財・サービス、不動産セクター

がやや軟調となったものの、その他の業種は堅調となり、特にインフォメーションテクノロジー、通信セクターが堅調となり上昇し、CBの特性である、株式市場に対する上昇追随力を発揮した動きとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

ポートフォリオでは、原資産の株式に対する感応度が相対的に低いCBへの投資および満期保有を基本戦略とし、ポートフォリオ全体の格付けについてはBBBー格としています。また、CB市場の非効率性を捉え、割安と考える銘柄に対する選別投資を実施しました。セクター別ではインフォメーションテクノロジーの組入比率を引き続き高位としています。また、国別においては米国および中国、日本を強気とした運用を行いました。

（格付けはS&P、フィッチ・レーティングス、ムーディーズのうち上位の格付けを採用し、格付けが取得できない銘柄についてはシュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社の内部格付けを使用しております。ポートフォリオ全体の格付け（平均格付け）については、それらの情報を基に組入銘柄にかかる格付けを加平均したものであり、当該ポートフォリオ自体の信用格付けではありません。以下、同じです。）

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○今後の運用方針

グローバルCB市場における投資機会は拡大基調となることが見込まれます。AI関連中心の設備投資が拡大する中で、CBは企業の柔軟な資金調達手段として活用されることが予想されます。また、株式市場のボラティリティが高止まりする局面においては、リスク管理を重視した投資家の選好がCB市場の支えとなっています。発行動向についても、グローバルで活発な発行が続くと考えます。市場変動が大きい中でも、2026年4月末時点で年初来のグローバルCBの新規発行は例年同月の約2.5倍の水準となりました。世界各国で金利上昇が見られる中、資金調達手段としてCB需要が高まる見通しです。こうした発行環境や、資金需要の定着を背景に、AIインフラやデータセンター、素材・鉱業など、資本集約的な領域での投資テーマが今後もCB発行を支えると考えます。米国が引き続き発行の中心となる一方、アジア（日本含む）も成長投資や企業改革を背景に一定の存在感を維持する見通しです。金融政策や財政状況の地域差が広がる中、金融市場では個別企業の事業基盤や財務状況に基づく選別が重視されており、CB投資においてもクレジット分析の重要性が高まっています。株式の上昇局面を捉えることが可能である一方、景気後退局面においてはクーポン収入や債券の性質が強まることで下値抵抗力を発揮することが期待できるCBは、このようなボラティリティが高まる環境下において魅力的な投資対象と考えます。今後も各国の経済状況や金融政策、セクター別の展開を踏まえたポートフォリオの構築を行っていく方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年5月13日～2026年5月11日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (新 株 予 約 権 証 券)	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	7 (6) (1)	0.038 (0.034) (0.004)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・ その他は、グローバルな取引主体識別子 (LEI : Legal Entity Identifier) 登録費用、信託事務の処理に要するその他の諸経費等
合 計	7	0.038	
期中の平均基準価額は、17,591円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（投資証券等を含む）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2025年5月13日～2026年5月11日)

新株予約権証券

		買 付		売 付	
		証 券 数	金 額	証 券 数	金 額
外 国	アメリカ	証券 － (691)	千米ドル － (2)	証券 691	千米ドル 2

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は権利行使および権利行使期間満了等による増減分です。

新株予約権付社債（転換社債）

		買 付		売 付	
		額	金 額	額	金 額
国内		千円 20,000	千円 21,415	千円 230,000	千円 280,191
外 国	アメリカ	千米ドル 10,429	千米ドル 11,174	千米ドル 11,679 (-)	千米ドル 14,335 (2)
	ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	400	406	500	522
	イタリア	—	—	300	341
	フランス	548	609	381	482
	オランダ	100	100	300	302
	スペイン	—	—	200	244
	オーストリア	100	110	—	—
	その他	800	799	100	95
	香港	千香港ドル 6,000	千香港ドル 6,449	千香港ドル —	千香港ドル —

(注) 金額は約定代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は予約権行使・償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2025年5月13日～2026年5月11日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2026年5月11日現在)

国内新株予約権付社債（転換社債）

銘	柄	当 期 末	
		額 面 金 額	評 価 額
		千円	千円
CYBERAGENT INC 0%	29/11/16	10,000	10,767
FERROTEC HOLDINGS 0%	28/06/23	10,000	26,933
TOKYU CORP 0%	28/09/29	10,000	10,005
DAIFUKU CO 0%	30/09/13	10,000	22,122
ANA HOLDINGS INC 0%	31/12/10	20,000	22,285
DAIWA HOUSE INDUST 0%	29/03/30	20,000	20,480
KANSAI PAINT CO 0%	31/03/07	10,000	10,252
RESONAC HOLDINGS C 0%	28/12/29	10,000	35,465
SBI HOLDINGS INC 0%	31/07/25	10,000	14,334
ROHTO PHARMACEUTIC 0%	32/03/15	10,000	10,622
NIPPON STEEL CORP 0%	31/02/14	10,000	10,205
ADVANTEST CORP 0%	31/03/28	10,000	12,162
合 計	額 面 金 額	140,000	205,635
	銘 柄 数 < 比 率 >	12	< 6.8% >

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 単位未満は切捨て。

外国新株予約権付社債（転換社債）

銘柄	当 期 末		
	額 面 金 額	評 価 額	
		外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)	千米ドル	千米ドル	千円
ON SEMICONDUCTOR 0% CB	50	98	15,388
NUTANIX INC 0.25% CB	50	54	8,580
ORMAT TECH 2.5% CB	50	69	10,849
CYTOKINETICS 3.5% CB	50	79	12,496
HALOZYME THER 1.0% CB	150	191	30,075
NOG INC 3.625% CB	175	177	27,902
LANTHEUS HLD 2.625% CB	50	67	10,541
IONIS PHARMA 1.75% CB	51	76	12,016
GIGABYTE TECHNOLO 0% CB	200	219	34,463
TETRA TECH INC 2.25% CB	25	26	4,204
AKAMAI TECHNO 1.125% CB	150	205	32,236
QUANTA COMPUTER 0% CB	200	223	35,162
LIVE NATION E 3.125% CB	25	40	6,332
HON HAI PRECISION 0% CB	200	214	33,637
UBER TECHNOLO 0.875% CB	145	178	27,997
PG&E CORPORATI 4.25% CB	100	101	15,987
EXACT SCIENCES CO 2% CB	50	71	11,161
REPLIGEN CORP 1.0% CB	30	30	4,726
GOLDMAN SACHS 0% CB	100	100	15,701
LYFT INC 0.625% CB	50	52	8,309
NEXTERA ENERGY 3.0% CB	143	198	31,203
PARSONS CORP 2.625% CB	150	146	23,061
MORGAN STANLEY FI 0% CB	100	187	29,391
BAIDU INC 0% CB	200	188	29,615
GLOBAL PAYMENTS 1.5% CB	297	265	41,619
GUARDANT HEALT 1.25% CB	30	52	8,213
MORGAN STANLEY FI 0% CB	100	140	22,055
FLUOR CORP 1.125% CB	50	59	9,304
WAYFAIR INC 3.5% CB	25	39	6,241
SOUTHERN CO 4.5% CB	400	433	68,001
AKAMAI TECHNOL 0.25% CB	131	228	35,886
MKS INSTRUMENT 1.25% CB	25	53	8,417
DOORDASH INC 0% CB	200	190	29,910
JD.COM INC 0.25% CB	240	245	38,511
TRIP COM GROUP 0.75% CB	188	200	31,414
GRAB HOLDINGS LTD 0% CB	122	119	18,685
RUBRIK INC 0% CB	119	111	17,539
CLOUDFLARE INC 0% CB	345	392	61,567
ETSY INC 1% CB	100	108	16,964
MAKEMYTRIP LTD 0.0% CB	33	29	4,588
AEROVIRONMENT INC 0% CB	108	103	16,261

銘 柄	当 期 末		
	額 面 金 額	評 価 額	
		外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)	千米ドル	千米ドル	千円
GDS HOLDINGS 2.25% CB	75	115	18,203
MICROCHIP TECH 0.75% CB	100	112	17,624
GAMESTOP CORP 0% CB	150	159	24,976
CYBERARK SOFTWARE 0% CB	200	233	36,705
RIVIAN AUTO 3.625% CB	300	288	45,294
COINBASE GLOBAL 0% CB	308	269	42,326
EURONET WORLD 0.625% CB	81	72	11,342
TERAWULF INC 1% CB	89	183	28,856
AVNET INC 1.75% CB	75	98	15,402
MARA HOLDINGS INC 0% CB	50	48	7,618
NEBIUS GROUP 2.75% CB	250	376	59,094
ALIBABA GROUP HLD 0% CB	450	461	72,385
LUMENTUM HOLD 0.375% CB	35	170	26,842
EVERGY INC 4.5% CB	100	134	21,168
WEC ENERGY 4.375% CB	50	58	9,177
SNOWFLAKE INC 0% CB	80	96	15,098
BOSTON PTYS 2% CB	105	99	15,554
ENERGY FUELS 0.75% CB	92	122	19,211
SOLARIS ENERGY 0.25% CB	50	76	11,957
GUIDEWIRE SOFT 1.25% CB	47	46	7,314
BLOOM ENERGY 0% CB	241	396	62,192
KCC CORP 1.75% CB	200	241	37,896
EXELON CORP 3.25% CB	20	20	3,145
UPSTART HLDGS 2% CB	25	26	4,104
BWX TECHNOLOGIES 0% CB	175	185	29,111
MICROSTRATEGY 0.875% CB	150	176	27,777
COREWEAVE INC 1.75% CB	162	215	33,853
DATADOG INC 0% CB	77	94	14,782
RIOT PLATFORMS 0.75% CB	50	91	14,304
CLEANSARK INC 0% CB	50	64	10,111
ZOETIS INC 0.25% CB	33	30	4,759
LIVE NATION E 2.875% CB	118	134	21,046
REALTY INCOME 3.5% CB	50	51	8,121
CHECK POINT SFTWR 0% CB	100	91	14,303
IREN LTD 0.25% CB	100	139	21,883
ARROWHEAD PHARMAC 0% CB	4	4	705
ENDEAVOUR SILV 0.25% CB	25	28	4,483
GOLDMAN SACHS FIN 0% CB	100	161	25,352
JINKAI INVESTMENT 0% CB	400	384	60,294
MORGAN STANLEY FI 0% CB	100	99	15,589
MICROCHIP TECH 0% CB	230	273	42,996
ALLIANT ENERGY 3.25% CB	75	79	12,520
BRIDGEBIO 1.75% CB	75	118	18,638

シュローダー・グローバルCBマザーファンド

銘柄		当 期 末		
		額 面 金 額	評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)		千米ドル	千米ドル	千円
WIWYNN CORP 0% CB		200	258	40,508
HD KOREA SHIPBUI 0% CB		200	270	42,392
BILIBILI INC 0.625% CB		200	236	37,168
COREWEAVE INC 1.75% CB		33	40	6,367
NCL CORP 0.875% CB		150	153	24,169
ZTO EXPRESS 0.925% CB		200	205	32,300
MERIT MEDICAL 3.0% CB		62	64	10,124
ON SEMICONDUCTOR 0% CB		15	15	2,388
計		11,314	13,348	2,095,781
小	額 面 金 額 銘柄数 < 比率 >	92	—	<69.4%>
(ユーロ・・・ドイツ)		千ユーロ	千ユーロ	千円
RAG-STIFTUNG 2.25% CB		100	111	20,582
TUI AG 1.95% CB		100	108	20,032
VONOVIA SE 0% CB		200	191	35,353
SALZGITTER AG 3.375% CB		100	144	26,615
MTU AERO ENGINES 0% CB		100	93	17,230
計		600	648	119,814
小	額 面 金 額 銘柄数 < 比率 >	5	—	<4.0%>
(ユーロ・・・イタリア)		千ユーロ	千ユーロ	千円
ENI SPA 2.95% CB		100	133	24,710
計		100	133	24,710
小	額 面 金 額 銘柄数 < 比率 >	1	—	<0.8%>
(ユーロ・・・フランス)		千ユーロ	千ユーロ	千円
SCHNEIDER ELEC 1.97% CB		200	275	50,867
VINCI 0.7% CB		100	108	20,071
LEGRAND SA 1.5% CB		100	118	21,865
EXAIL TECH 4% CB		100	127	23,602
ACCOR SA CONV 0.7% CB		38	43	8,075
計		538	673	124,481
小	額 面 金 額 銘柄数 < 比率 >	5	—	<4.1%>
(ユーロ・・・オランダ)		千ユーロ	千ユーロ	千円
MERRILL LYNCH 0.1% CB		100	91	16,847
FERROVIAL SE 0.75% CB		100	104	19,376
計		200	196	36,224
小	額 面 金 額 銘柄数 < 比率 >	2	—	<1.2%>
(ユーロ・・・スペイン)		千ユーロ	千ユーロ	千円
IBERDROLA FINAN 0.8% CB		100	148	27,378
計		100	148	27,378
小	額 面 金 額 銘柄数 < 比率 >	1	—	<0.9%>
(ユーロ・・・オーストリア)		千ユーロ	千ユーロ	千円
VOESTALPINE 2.75% CB		100	122	22,642
計		100	122	22,642
小	額 面 金 額 銘柄数 < 比率 >	1	—	<0.7%>

銘 柄		当 期 末		
		額 面 金 額	評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(ユーロ・・・その他)		千ユーロ	千ユーロ	千円
JPMORGAN CHASE 0.5% CB		100	108	20,112
GOLDMAN SACHS 0% CB		500	455	84,143
CITIGROUP GLOBAL 0.8% CB		100	106	19,601
GOLDMAN SACHS 0% CB		100	149	27,670
ANLLIAN CAPITAL 2.0% CB		200	195	36,026
小 計	額 面 ・ 金 額	1,000	1,015	187,554
	銘 柄 数 < 比 率 >	5	—	<6.2%>
ユ ー ロ 計	額 面 ・ 金 額	2,638	2,938	542,805
	銘 柄 数 < 比 率 >	20	—	<18.0%>
(香港)		千香港ドル	千香港ドル	千円
CHINA PACIFIC INS 0% CB		2,000	2,131	42,750
PING AN INSURANCE 0% CB		2,000	2,530	50,762
MIDEA INVESTMENT 0% CB		2,000	1,998	40,079
小 計	額 面 ・ 金 額	6,000	6,659	133,593
	銘 柄 数 < 比 率 >	3	—	<4.4%>
合 計	額 面 ・ 金 額	—	—	2,772,180
	銘 柄 数 < 比 率 >	115	—	<91.7%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) < >内の比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2026年5月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
新株予約権付社債(転換社債)	2,977,816	97.2
コール・ローン等、その他	86,182	2.8
投資信託財産総額	3,063,998	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(2,814,676千円)の投資信託財産総額(3,063,998千円)に対する比率は91.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=157.01円、1ユーロ=184.75円、1香港ドル=20.06円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年5月11日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	3,072,618,194
コール・ローン等	66,715,191
公社債(評価額)	2,977,816,287
未収入金	21,373,350
未収利息	6,207,996
前払費用	505,370
(B) 負債	51,113,682
未払金	51,113,682
(C) 純資産総額(A－B)	3,021,504,512
元本	1,514,949,410
次期繰越損益金	1,506,555,102
(D) 受益権総口数	1,514,949,410口
1万口当たり基準価額(C／D)	19,945円

[元本増減]	
期首元本額	1,921,807,663円
期中追加設定元本額	28,485,432円
期中一部解約元本額	435,343,685円

[当マザーファンドの当期末における元本の内訳]	
シュローダー・グローバルC Bファンド(少数私募)	為替ヘッジあり 520,859,664円
シュローダー・グローバルC Bファンド(少数私募)	為替ヘッジなし 994,089,746円

○損益の状況 (2025年5月13日～2026年5月11日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	26,166,862
受取利息	26,153,396
その他収益金	13,466
(B) 有価証券売買損益	755,326,584
売買益	913,990,094
売買損	△ 158,663,510
(C) 保管費用等	△ 1,128,133
(D) 当期損益金(A+B+C)	780,365,313
(E) 前期繰越損益金	1,015,757,763
(F) 追加信託差損益金	22,862,289
(G) 解約差損益金	△ 312,430,263
(H) 計(D+E+F+G)	1,506,555,102
次期繰越損益金(H)	1,506,555,102

- (注) 損益の状況の中で(B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注) 損益の状況の中で(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注) 損益の状況の中で(G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

ニッセイマネーマーケット マザーファンド

運用報告書

第 29 期

(計算期間：2025年10月16日～2026年4月15日)

運用方針

- ① 円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。
- ② 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

主要運用 対象

円建ての短期公社債および短期金融商品

運用方法

以下の様な投資制限のもと運用を行います。
・ 外貨建資産への投資は行いません。



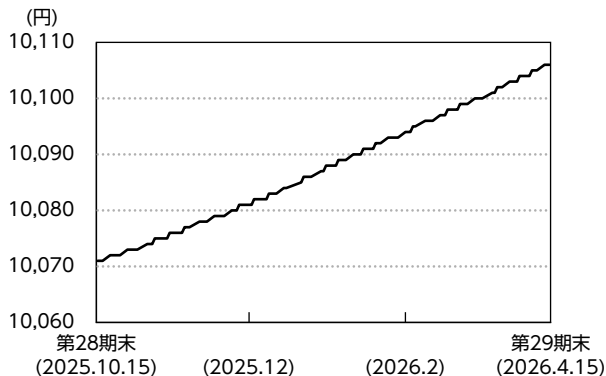
ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

運用経過

2025年10月16日～2026年4月15日

基準価額等の推移



■基準価額の主な変動要因

＜上昇要因＞

- ・前期末以降、利子等収益等が積み上がったこと

(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

ポートフォリオ

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

ベンチマークとの差異

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざして運用を行うことから、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

今後の運用方針

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

今後も引き続き、安定した収益確保のため、短期証券を中心に投資していく方針です。

お知らせ

■約款変更

「一般社団法人投資信託協会」と「一般社団法人日本投資顧問業協会」の合併に伴い関連条項に所要の変更を行いました。

(2026年4月1日)

最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中	債券 組入比率	純資産 総額
		騰落率		
	円	%	%	百万円
25期 (2024年 4 月15日)	10,025	0.0	83.1	1,391
26期 (2024年10月15日)	10,028	0.0	92.2	1,375
27期 (2025年 4 月15日)	10,043	0.1	73.1	2,007
28期 (2025年10月15日)	10,071	0.3	75.5	2,053
29期 (2026年 4 月15日)	10,106	0.3	63.5	4,800

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券 組入比率
	円	%	%
(期首)2025年10月15日	10,071	—	75.5
10月末	10,073	0.0	74.8
11月末	10,078	0.1	79.6
12月末	10,084	0.1	70.8
2026年 1 月末	10,091	0.2	68.3
2 月末	10,096	0.2	68.5
3 月末	10,103	0.3	63.3
(期末)2026年 4 月15日	10,106	0.3	63.5

(注) 騰落率は期首比です。

ニッセイマネーマーケットマザーファンド

1 万口当たりの費用明細

2025年10月16日～2026年4月15日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
売買委託手数料	－円	－％	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	－	－	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
合計	－	－	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（10,088円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2025年10月16日～2026年4月15日

公社債

		買付額	売付額
国内	地方債証券	千円 1,865,937	千円 － (557,000)
	特殊債券	181,642	－

(注1) 金額は受渡代金です(経過利子分は含まれていません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

主要な売買銘柄

2025年10月16日～2026年4月15日

公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
第1回 東京都公募公債(東京ソーシャルボンド(5年))	498,120	—	—
令和3年度第6回 埼玉県公募公債(5年)	497,630		
平成28年度第4回 京都市公募公債	298,041		
第760回 東京都公募公債	286,297		
平成28年度第1回 静岡市公募公債	285,848		
第291回 政保日本高速道路保有・債務返済機構債券	181,642		

(注1) 金額は受渡代金です(経過利子分は含まれていません)。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

組入有価証券明細表

2026年4月15日現在

国内（邦貨建）公社債

区分	額面金額	評価額	組入比率	当期末 うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
地方債証券	2,875,000 (2,875,000)	2,868,386 (2,868,386)	59.8 (59.8)	—	—	—	59.8 (59.8)
特殊債券 (除く金融債券)	183,000 (183,000)	182,220 (182,220)	3.8 (3.8)	—	—	—	3.8 (3.8)
合計	3,058,000 (3,058,000)	3,050,606 (3,050,606)	63.5 (63.5)	—	—	—	63.5 (63.5)

(注1) 評価については、原則として証券会社、価格情報会社等よりデータを入力しています。ただし、残存期間1年以内の公社債については、償却原価法により評価しています。以下同じです。

(注2) ()内は非上場債であり、上段の数字の内訳です。

(注3) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

(国内公社債の内訳)

債券種別	銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額
		%		千円	千円
地方債証券	第756回 東京都公募公債	0.0500	2026/ 6 /19	182,000	181,821
	第760回 東京都公募公債	0.0450	2026/ 9 /18	288,000	287,005
	第1回 東京都公募公債(東京ソーシャルボンド(5年))	0.0050	2026/ 6 /19	500,000	499,305
	平成28年度第5回 愛知県公募公債	0.0700	2026/ 6 /29	182,000	181,792
	平成28年度第1回 広島県公募公債	0.0800	2026/ 5 /25	181,000	180,885
	令和3年度第6回 埼玉県公募公債(5年)	0.0050	2026/ 7 /28	500,000	498,853
	第158回 共同発行市場公募地方債	0.0800	2026/ 5 /25	182,000	181,883
	第160回 共同発行市場公募地方債	0.0500	2026/ 7 /24	272,000	271,516
	平成28年度第1回 静岡市公募公債	0.0600	2026/11/25	288,000	286,561
	平成28年度第4回 京都市公募公債	0.0700	2026/10/23	300,000	298,760
	小計	—	—	—	2,868,386
特殊債券 (除く金融債券)	第291回 政保日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.0050	2026/10/30	183,000	182,220
	小計	—	—	—	182,220
	合計	—	—	—	3,050,606

投資信託財産の構成

2026年4月15日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	3,050,606	63.3
コール・ローン等、その他	1,766,379	36.7
投資信託財産総額	4,816,986	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

ニッセイマネーマーケットマザーファンド

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2026年4月15日現在)

項目	当期末
(A)資産	4,816,986,155円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1,766,041,463
公 社 債 (評価額)	3,050,606,642
未 収 利 息	284,533
前 払 費 用	53,517
(B)負債	16,465,227
未 払 解 約 金	16,465,227
(C)純 資 産 総 額 (A - B)	4,800,520,928
元 本	4,750,142,861
次 期 繰 越 損 益 金	50,378,067
(D)受 益 権 総 口 数	4,750,142,861口
1万口当たり基準価額 (C / D)	10,106円

(注1) 期首元本額 2,038,753,014円
 期中追加設定元本額 3,167,158,192円
 期中一部解約元本額 455,768,345円

(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。

ニッセイグローバル好配当株式プラス (毎月決算型)	10,000円
ニッセイマネーマーケットファンド (適格機関投資家限定)	49,754,738円
ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド (毎月決算型)	9,994円
ニッセイアメリカ高配当株ファンド (毎月決算型)	9,984円
ニッセイアメリカ高配当株ファンド (年2回決算型)	9,984円
ニッセイ世界高配当株ファンド (毎月決算型)	9,984円
ニッセイ世界高配当株ファンド (年2回決算型)	9,984円
J P X日経400アクティブ・オープンミドル投資型	9,976円
J P X日経400アクティブ・プレミアム・オープン (毎月決算型)	9,976円
ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン (毎月決算型)	9,974円
ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン (年2回決算型)	9,974円
ニッセイA I 関連株式ファンド (為替ヘッジあり)	9,967円
ニッセイA I 関連株式ファンド (為替ヘッジなし)	9,967円
ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド (資産成長型)	9,968円
D Cニッセイターゲットデットファンド2035	466,742,032円
D Cニッセイターゲットデットファンド2025	2,683,450,997円
ニッセイ/コムジェスト新興国成長株ファンド (資産成長型)	9,969円
ニッセイ/コムジェスト新興国成長株ファンド (年2回決算型)	9,969円
ニッセイA I 関連株式ファンド (年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,969円
ニッセイA I 関連株式ファンド (年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,969円
D Cニッセイターゲットデットファンド2030	1,549,776,508円
ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド (年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,970円
ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド (年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,970円
ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド (資産成長型・為替ヘッジあり)	9,970円
ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド (資産成長型・為替ヘッジなし)	9,970円
グローバル・ディスラプター成長株ファンド (予想分配金提示型)	9,972円
グローバル・ディスラプター成長株ファンド (資産成長型)	9,972円
ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド (予想分配金提示型)	9,972円
ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド (資産成長型)	9,972円
ニッセイ/シュローダー好利回りCBファンド2023-02 (為替ヘッジあり・限定創設型)	9,974円
限定創設型・最上乗額限定ニッセイ世界1カ国株式厳選ファンド2023-07 (為替ヘッジあり)	9,975円
ニッセイ・マルチアセット・インカム戦略ファンド (資産成長型)	9,975円
ニッセイ・マルチアセット・インカム戦略ファンド (毎月決算型)	9,975円
ニッセイS & P 500リカバリー戦略株式ファンド	9,973円
ニッセイ・インド中小型株式ファンド	9,969円
ニッセイ・インド株式ファンド<購入・換金手数料なし>	9,964円
ニッセイ・インド株式オープン (資産成長型)	9,939円
ニッセイ・インド株式オープン (3ヵ月決算型)	9,939円
ニッセイ/シュローダー好利回りCBファンド2025-09 (為替ヘッジなし・限定創設型)	9,934円
ニッセイ米国株式ブースト戦略ファンド (毎月決算・予想分配金提示型)	9,910円
ニッセイ米国株式ブースト戦略ファンド<為替リスク限定型> (毎月決算・予想分配金提示型)	9,910円
ニッセイ/シュローダー好利回りCBファンド2026-03 (為替ヘッジなし・限定創設型)	9,901円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド (毎月決算型・為替ヘッジあり)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド (毎月決算型・為替ヘッジなし)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド (年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド (年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,968円

損益の状況

当期 (2025年10月16日～2026年4月15日)

項目	当期
(A)配 当 等 収 益	4,472,125円
受 取 利 息	4,472,125
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	8,863,414
売 買 益	8,863,414
(C)当 期 損 益 金 (A + B)	13,335,539
(D)前 期 繰 越 損 益 金	14,433,829
(E)追 加 信 託 差 損 益 金	26,792,804
(F)解 約 差 損 益 金	△ 4,184,105
(G)合 計 (C + D + E + F)	50,378,067
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	50,378,067

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (E)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。

(注3) (F)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。